

暗転中。

(ガチャ)(バタン)

猪戸(声) はい、どちらまで

藤長(声) えつと……、ニュートンホテルなんだけど

梅津(声) ああ、ニュートン。赤森と青田があるけど、どっち？

藤長(声) えつと、(荷物を探る音)……赤森。赤森の方

猪戸(声) あいよ、了解しやしたっ

明転。

夕方。車内。運転席に猪戸佐平次、助手席に梅津紅太郎。

どちらもタクシーの運転手の服装。

後部座席に藤長秀家。私服姿(スーツ、制服ではない)

藤長 ……あの

梅津 はい

藤長 ……研修か、何か？

梅津 え、何が？

藤長 いや、その、二人いるから

梅津 ん、あ、ああそうか。そうだ、そりやそうだよ。言わないとこれは

猪戸 そうだね。慣れるな、この状況に

梅津 そうだね。お客さんに迷惑がかかるもんね

藤長 研修ではない……？

梅津 ほら、イノさん。自分から話さないよ

猪戸 え、俺？

梅津 そりやそうでしょ、僕から話したらちよっとカドが立つよ

猪戸 そうかなあ？ここはウメさんから、そのカドをまあるくさあ、

藤長 あの、込み入ってるなら別にいいよ

梅津 ううん、単純単純。ほら

猪戸 ……まあ、端的に言えばだ、足りなかったよね

藤長 え、何が？

猪戸 あ、四文字の漢字を思い浮かべてもらおうかな  
藤長 よ、四文字……？

猪戸 いい？……無賃……乗車

藤長 無賃、乗車。誰が？

猪戸 俺が

藤長 そんな格好して？

梅津 (笑) この制服は僕の。要は、イノさん無賃乗車した分、タダ働き

藤長 それは……、ラーメン屋でお金足りなくて皿洗いみたいな

梅津 それっ

猪戸 もう、参ったよ

梅津 こっちのセリフだよ。僕あさ、ロングのお客さんだと思ってたんだよ

猪戸 でも、あれはウメさんにも責任があると思うよ

梅津 おや、何だい。イノさんのお金が足りない責任が、どうして僕にあるんだい？

猪戸 だって、なかなか降ろしてくれなかった

梅津 おかしなことを言ってくれるじゃないか。タクシーってのは、目的地まで走って、到着したら降りるもんだろ

猪戸 目的地の決まってる俺を延々と乗せ続けた

梅津 目的地のない人間がタクシーに乗るな、このお

藤長 ちよちよちよ、……えつとね、あのさ、運転手さんは地元の人？

猪戸 (同時に) いや、俺はね

梅津 (同時に) そう。もうかれこれ

藤長 いやいや、アンタじゃなくて

猪戸 あ。ああ

梅津 そうだよ、僕だろ

猪戸 いや、だって、今運転してるのは俺で、二人とも同じ格好なら、どちらかと言えば、俺の方が運転手さんだよ

梅津 おや。お客さん、どうする？

藤長 どうする？

猪戸 止めちゃおう

(キキッ) クルマ止まる

梅津

お

猪戸 これでイーブン  
梅津 さ、好きな方を選んで  
藤長 いや……。じゃあ、(ネームプレート見る) 梅津さんは、  
梅津 ウメさんでいいぞ  
藤長 はい、ウメさんは地元の人？  
梅津 そうそう。四色(ししき)郡でかれこれ四十年そこら  
藤長 うんうん、で、ウメさんのタクシーをあなたが、  
猪戸 猪戸だ  
梅津 イノさんでいいぞ  
藤長 イノさんが拾って、  
梅津 いや、僕が拾ってやったんだ  
猪戸 いいや、俺が拾った  
藤長 はいはいはい。それで、イノさんは目的地も決まってるのに、どうしてタクシーに乗ったのよ？  
猪戸 どうして……？ はにかんで？  
梅津 ウソだよ、はにかんでなかったよ  
猪戸 こんな顔して乗ったから(はにかみながら)  
梅津 ウソウソ。そんなカワイイ顔した人、乗せないもの。ねえ？(藤長に)  
藤長 いいよ、顔の話は  
梅津 そう？ こんなにカワイイのに。あれ、何の話だっけ？  
猪戸 あれ、なんでクルマ止まってんだ？  
梅津 お客さん、停車中もカウンター動くからね  
藤長 ちよつと！  
猪戸 で、どこ行くんだっけ？ エニタイム・フィットネス？  
藤長 ニュートンホテル！ 赤森のっ  
猪戸 あいよつ

再びクルマを発進する。Uターン。

藤長 っつて、Uターン！……今までどこ向かってたんだよ  
猪戸 え、エニタイム、  
藤長 わかったわかった。いい？ 赤森方面。ニュートンホテル。ね？  
猪戸 アカ、モリ……？ ごめんね、俺この辺来たの昨日でさ  
梅津 よつしや。イノさん、止めて。僕が替わろう

猪戸 あいよ

(キキツ) クルマ止まる  
梅津、運転席へ。猪戸、助手席へ。

藤長 ……まったく、なんで旅先着いていきなりフィットネスなんだよ

猪戸 いやあ、お客さん、中性脂肪だから筋肉だよ

藤長 丁寧にしやべれっ

猪戸 そう、カツカしなさんな

梅津 そうそう、ピリピリしなさんな

再びクルマを発進する。

藤長 ……で、その、無賃乗車なんだけど

梅津 ああ

猪戸 え、まだ聞くの？

梅津 もしかして、警察の人？

猪戸 ヤバ

藤長 いや、御心配なく。ちよつとね、地方の変わった話はウケがいいんで  
……こういうもんです(名刺を猪戸に渡す)

猪戸 ライター……藤長、秀家

梅津 ライターさん……

藤長 ちよつとこの辺に取材があつてね

梅津 へえ、取材。こんなところに

藤長 そ。で、イノさんは、どうして四色郡に？

猪戸 いやあ、行き当たりばったりでさあ

梅津 拾ったのは藤やんと同じ、あそこの黒部港なんだけどね

藤長 藤やん……？

梅津 そいでさ、乗せた途端カツコいいんだから……ガチャツ、ボタンツ

猪戸 「北へ向かってくれ」

猪戸・梅津 カあツコいいい

藤長 あ、そう……

梅津 フェリー客はロングも多いからさ、こつちも喜んで出発するじゃない？  
そしたら道中、しゃべるしゃべる。延々と北へ進んじやつて

猪戸 そうは言うけど、半分以上はウメさんがしゃべってたからね。そりやもう、初恋から脱腸の思い出まで幅広おく語ってたよ

梅津 ノセるのがうまいんだもの。ま、クルマに乗せてたのは、僕だけだね

猪戸 ……

藤長 イノさんてさ、もしかして、逃亡中？

猪戸 いやいや、もうそんなんじゃない

藤長 もう？

梅津 え、イノさんって、前科者？

猪戸 ちがうちがう。言ったじゃない、借金取りの話

梅津 ああ

猪戸 もう目処がついて、逃げることはないの

梅津 イノさん、会社潰してんだって

猪戸 俺のじゃないよ、アニキの

梅津 ああ、はいはい

藤長 何の会社よ？

猪戸 うーん、いろいろ取り扱ってて、ひと口には

梅津 言えるよ。実演販売

藤長 へえ、そう。あれだ、穴の開いた包丁とか、やたら落ちる洗剤とか

猪戸 そうそう、そういうの売ってたねえ

梅津 口八丁手八丁で世を渡り歩いてんだから

藤長 え、でも、今は会社潰れてんでしょ？

猪戸 んー、でも借金返すのもコレしかないんだよね

藤長 へえ

梅津 全国を転々としながら、実演販売やってんだって

藤長 それで四色郡なの？

猪戸 いや、ここらは通り道程度に思ってたんだけどね

梅津 どっこい、中高年がそこら中に埋まってんだよね。ショッピングモールも意外と多いし。それで、僕が顔の広い知り合いを紹介してやるって話になってるの

藤長 へえ、顔の広い知り合い、か…

梅津 ただし、無賃乗車分働いたらね

藤長 なるほど

梅津 どうだい、いいネタになったかい？

藤長 いや、どうかなあ。まあ、画的には面白いんだけど

梅津 あ、

(キキーツ)(ガンツ)クルマ前部、衝突される。

藤長 おっと

梅津 ……えつと、大丈夫？

藤長 まあね

猪戸 こっちは安全運転だったね、ウメさん

梅津 うん、あちらの強引な右折だったよ

藤長 キズついたか？

梅津 ううん、大丈夫。ありがとう(胸に手を当て)

藤長 アンタじゃない、クルマ。あ、へこんでねえか？

梅津 ううん、大丈夫。ありがとう(胸に手を当て)

藤長 だからアンタじゃないって

猪戸 あちらさんは……

梅津 トランクがバカになっちゃってるね

猪戸 警察、呼ぶかい……？

梅津 問題はそこだね

猪戸 あ、バックしてきた

赤いランプが近づいて来る。

猪戸 あちらさん、パトカーだね

梅津 そうだね。……どうすんだろう、こういう場合

猪戸 とりあえず、話してみるしかないね(クルマ降りる)

梅津 え、イノさん。ごめん、ちよっと待っててね。メーターそのままにしておくから(メーター指差し確認)

藤長 止める

梅津 ああ、はいはい(メーター止める) さてさて、大変だ(クルマ降りる)

取り残される、藤長

パトカーの赤いランプ消える。

藤長 お。……。パトカーと……タクシーの運転手二人。……シユール

藤長、荷物の中からカメラを取り出し、様子を撮影する。  
離れた所から、猪戸・梅津の笑い声が聞こえる。

藤長 え……？……。……あ、

猪戸・梅津が戻って来て、クルマに乗り込む。

猪戸 いやいや、

梅津 はあゝ

藤長 えっと、

猪戸 大仏に似てたよね？

梅津 僕も思った。ここでしょ、ここ

猪戸 そう。いや、ホクロもなんだけどき、トータルで。トータルで大仏

梅津 わかる。でもね、イノさん。大仏のおでこのは、ホクロじゃなくて「白

毫」っていう長い一本の毛を丸めたものだよ

猪戸 毛！毛なの、アレ？うっそ

藤長 ちよつと、毛はいいから

梅津 その長さ4.5メートル

猪戸・藤長 4.5！

藤長 ……ヨン、テン……いや、毛はいいから

梅津 ん、なに？

藤長 どうなったのよ、パトカーは

梅津 ああ……。うん。いいって

藤長 は？

梅津 見逃してくれるって

藤長 え、でも見逃すというか、どちらかと言えばあっちが、

猪戸 相手は警察だからね

梅津 どうとでもできちゃうし

藤長 そうかもしれないけど

梅津 いろいろ面倒くせえからいいって

藤長 丸め込まれたんだ

梅津 いいの。保険入ってるしなんとかなるよ。はい、じゃ、ニュートンね

藤長 あ、ちよつと待った

梅津 え、なに？  
藤長 ウメさんに、ちょっと連れて行ってほしいところがあるんだけど

2 部長室

室内。デスクの椅子に座っている月島

(ノック音)

月島 入れ

(ガチャ、ボタン) 入って机の前に立つ、小田桐。

小田桐 お呼びでしょうか

月島 銃刀法の猪戸、どうなってる？

小田桐 はい、本日の午後から取り調べが始まります

月島 そうか。しつかり、やってくれ

小田桐 ……はい

月島 ……こっちは慣れたか？

小田桐 はい。まだ部屋は雑然としておりますが

月島 そうか。まあ、そういうもんだろう。ここはいいぞ。食べ物に水に空  
気、口に入れるものに関しては申し分ない

小田桐 ええ、仰る通りです

月島 君、家族は？

小田桐 いえ、今は一人です

月島 そうか。何はなくとも、早く慣れることだ

小田桐 お気遣いありがとうございます

月島 いずれにせよ、君はここに来た。それは検事の職務を全うする意志の  
表れと捉えるが、違うかい？

小田桐 はい、その通りです

月島 ……鶴田の件、

小田桐 ……

月島 君は、関与していない

小田桐 ……はい。以前、委員会へ報告した通りです

月島 間違いないな



小田桐 はい  
月島 ……一度、直接聞いておきたかった。手間を取らせたな  
小田桐 とんでもございません  
月島 下がっていいぞ  
小田桐 失礼します（部屋を出て行こうとする）  
月島 ……猪戸の件、  
小田桐 （止まる）  
月島 起訴だ。警察の調書の通りでいい。余計なことはするな  
小田桐 ……  
月島 必ず立てろ  
小田桐 ……はい

3 スナックかの子

店内。青木かの子が座って雑誌を読んでいる。  
（ドアベル）入口より、顔を出す梅津。

かの子 （気づき）ん？  
梅津 や  
かの子 なんだ、ウメか  
梅津 やってる？  
かの子 表に「クローズ」って出てたろ？  
梅津 （ドア外へ）すっぴんでもよければどおぞー！  
かの子 くおら〜。まだ五時前だろ。働きなさいよ  
梅津 客じゃないの、聞き込み聞き込み  
かの子 はあ？

（ドアベル）梅津、猪戸、藤長、ドアから入って来る。

かの子 なに？ タクシー仲間？  
梅津 ううん。エセ運転手とお客さん  
かの子 はあ？ 何よ、同じような体型して。何の用？  
梅津 いやね、ママに聞きたいことがあってさあ  
かの子 カネならないうよ

梅津 僕もないよ

かの子 だろうね

梅津 こっちのイノさんなんて無賃乗車だよ

猪戸 よせやい

かの子 うーん、カオス……

藤長 あの、お尋ねしたいのは私なんです、こういうものです（名刺を差し出す）

かの子 （受け取り）ふーん、ライター……

藤長 この人を捜しているんですが、見かけたことはありませんか（写真を見せる）

かの子 ……ん、随分古い写真だね

藤長 二十年くらい前のものです

かの子 最近はないの？

藤長 いえ、これしか

かの子 ふーん、見てないと思うけど

梅津 いや、この辺さあ、いかかわしいヤツばっかじゃん？

かの子 なあに、そのピュアな無礼さ加減

梅津 裏の団地とかにいないかと思って、連れてきたんだけど

かの子 いないんじゃない？ 全員の顔知らないけどさ

（ドアベル）ドアより菊池猛（キク）が入って来る。

キク ……

かの子 お帰り。客じゃないから気にしなくていいよ

梅津 よ、キクちゃん

キク ……タクシー仲間？

梅津 ううん。中性脂肪仲間

キク そう

かの子 ね、人探ししてんだって。少数民族の人が

藤長 （服装確認）俺だな？ こちらなんです（写真を見せる）

キク （見る）……今、何才？

藤長 四十代、かな

キク ……知らない

藤長 そうですか……

キク、奥へ去る。猪戸も、以降の会話中、奥へ去る。

かの子 ねえ、何した人？

藤長 ああ……、三億円事件がらみなんですが、

かの子 三億円？あれ？さっきの、モンタージュの人？

藤長 いえ、違います。（写真を持ち）この人は何もしていません

かの子 何もしていない人を捜してる、って何？

梅津 モンタージュに顔がそっくりなだけなんだって

かの子 は？

藤長 主に顔だけが理由で警察に疑われ、マスコミにも追っかけられて、散々な目に遭った人です

かの子 へえ、そんな人がいるんだあ

梅津 そんなで、その人が赤森にいたって情報があるんだって

藤長 好奇の目を避けて、各地を転々としているらしく、定かではないんですが

かの子 でもさ、この人に今会ってどうすんの？

藤長 事件と、その後身の周りで起きた騒動を振り返って、今どう考えているかを聞きたくて

かの子 「あの人は今」だ

藤長 わかりやすく言えば、そうです

かの子 なるほどね。流行ってんの？そういうの

藤長 さて、どうでしょう。それなりの食いつきは見込めると思いますが

かの子 あたしキライなんだよねえ。寄ってたかって弱きを挫く、恥つずかしいオツサンたちがさあ

藤長 これも仕事なんでね

かの子 他にネタないの？

藤長 あつたらこんなクソ田舎に来てないですよねえ

梅津 ちよつとちよつと。まあまあ、まあまあ。ここはこのタクシードライブバーに免じてブレーキブレーキ。キキツ。……ねえ？

猪戸、奥から出て来る。

猪戸 はいはいはい。サンドイッチができましたよ

梅津 ちよつとイノさん、何してんの？  
猪戸 小腹が空いちやつて  
梅津 そうじゃなくて

キク、入る。

キク ……ママ、彼のサンド「ウイ」ツチ……うまいよ（去る）

梅津 ……キクちゃん、相変わらずコメントに重みが、えっ、食べんの？

かの子 キクが褒めるの珍しい……（かの子、食べて、顔リアクション）

梅津 顔！顔だ！

かの子 ……ええ、美味しい

猪戸 あのね、コツは食材の水気を閉じ込めて、他の食材に迷惑をかけさせないことね

藤長 （食べてる）美味しい

梅津 よし。じゃあ、イノさんと最初の奥さんのナレソメでも聞きましたよか

かの子 オーウー

猪戸 なんでだよ

かの子 「最初」？ 「最初」なの？

梅津 バツ2

かの子 ヘエイイ！

猪戸 ちよつと

梅津 あれは、若かりしいノさんが、デパートの屋上で腹筋器具の実演販売をしていた、うららかな春のことじゃった……

猪戸 なんでウメさんが話すのよ

かの子 いいからいいから。ほら、続けて。あ、何飲む？ ビール？ ハイボール？

梅津 ビール

猪戸 ハイボール

藤長 お前から運転は？

梅津 シーっ。実演販売の見物客として居合わせたエレベーターガールが、イノさんの腹筋に興味を持ったことから二人の恋は始まりました

かの子 よおよお

猪戸 腹筋じゃないよ、腹筋器具だよ

かの子 そうよ、どこにもないわよ、腹筋なんて（猪戸の腹を指す）

猪戸 ちよつと言つてくれるじゃんか、ママ。この野郎  
かの子 だつて何よ、この立派なヤツは（腹を指す）イクラでも入つてんの？  
猪戸 そうだよ、イクラが入つてんだよ  
かの子・キク（！） え、イクラが入つてんの？（キク、急に登場）  
猪戸 まあ、まだスジコだけどな  
かの子 どう違うの？  
猪戸 ごめん、プライベートだから  
キク どこで産むの？  
猪戸 ピチピチりつと、もうちよい上流の方で  
梅津 へえ。あ。じゃ、梅津唄います。ママ、『サケと泪とイクラと女』  
藤長 お前ら運転は……？

#### 4 取調室

座つて書類に目を通してしている小野。

（ガチャ、ボタン）小田桐、入ってくる。

小野 いかがでした？

小田桐 ん……、ええ

小野 部長が直々に呼び出すからには、それなりの理由がありますよね

小田桐 別段、珍しいことでもないでしょう

小野 きつと案件がらみですね（書類を探る）

小田桐 ……そうですが

小野 となると……ああ、これだ、「自主ダビデ像」

小田桐 は？

小野 （読む）駅前にて、全裸・白塗りで三時間不動のダビデ像。パフォーマ

ンス。寒さに耐えきれず震え出したところで、ようやく気づかれて現行

犯逮捕

小田桐 ……なぜ、それまで気づかれなかったんだ

小野 人通り少ないですから

小田桐 ……。そもそもこんな案件、ウチで処理するんですか？

小野 ダビデはともかく、いけないハツパを楽しんでいたように

小田桐 ……なるほど

小野 ご自宅で自家栽培にも励んでらしたそうです。押し入れ、屋根裏、普通に庭。(笑)普通に庭。普通……

小田桐 ……

小野 「よくしゃべる事務官だなあ」

小田桐 ……え？

小野 そう、お思いでしょう？

小田桐 ……

小野 ……

小田桐 慣れてくださいね。こんな所ですからね、事務官も選ばませんよ

小田桐 ……

小野 仕事はちゃんとやりますから。多分きつと、それなりに

小田桐 はい。……小野さん

小野 なんででしょう

小田桐 私に関する噂が耳に入っていると思います

小野 小田桐さんの噂……？

小田桐 おそらく全て、本当です

小野 はい……

小田桐 ですが、個人的な問題は関係ありません。目の前の案件に向かい合っ  
て行きましょう

小野 はい

小田桐 よろしくお願ひします。初めのうちにそれだけお伝えしておきたくて

小野 あの、噂ってなんですか？

小田桐 耳に入っていないませんか？

小野 ああ、どうでしょう。あたし、爆破のないストーリーって右から左へ  
ドライブスルーなんで

小田桐 ……ドライブスルー？

小野 ドライブスルー。あ、使い方違います？

小田桐 いや、どうだろうか……

小野 すいません、あたし結構ウツカリ八兵衛で

小田桐 八兵衛？

小野 あれ、これも違います？

小田桐 どうでしょう

小野 (自分に言いかける) ドソマイドソマイ。(書類を探る) さて、とな  
ると……、部長好みの案件は……

小田桐 ……午後に来る猪戸です

小野 お……はいはい、これですか（書類を見る）  
小田桐 特別、意識する必要はありません。通常通りでお願いします  
小野 はい。（読む）……拳銃所持……転売。警察でも自供してますし、問題なさそうですね  
小田桐 そうですね……  
小野 何か、気になりますか？  
小田桐 （書類に目を落とす）……いえ、特に

5 スナックかの子

かの子、メイクなど手鏡を使った支度をしている。  
（ドアベル）藤長、ドアを開けて入る。

藤長 はい、どうも  
かの子 「どうも」じゃないよ、「クローズ」って出てたろ  
藤長 まあまあ、いいじゃんか（座る）  
かの子 何？ まだいたの？  
藤長 バカ言うなよ。赤森なんか二週間もいるワケないだろ  
かの子 あたしは赤森「なんか」に来て、もう随分になりました  
藤長 そいつあ物好きなのだった  
かの子 またアレ？ 「あの人」を探しに来たの？  
藤長 いや、ちっとも見つかる気配ねえし、ありやオジャンになった  
かの子 あ、そ  
藤長 別件で面白そうなネタがあつてな  
かの子 ほお  
藤長 こないだの聞き込みによると、ここらの警察は随分ヤンチャしてるって話じゃんか  
かの子 ここらの警察ってのは、赤森警察のこと？  
藤長 まあ、この辺の話なら、そうなるな  
かの子 ああ、そう  
藤長 こっちの話にはアタリがあるね？  
かの子 どうだろ……？ ちょっと早いけど営業するかなあ  
藤長 はいはい。落とすものは落としますよ

かの子、奥へ行き、店内BGMをかける（営業開始）

藤長 ウメ、アレから顔出した？

かの子 それなんだけど、勘弁してほしいんだよね

藤長 何が？

かの子 あ、ビールでいい？

藤長 いや、ハイボール

かの子 はいよ。（飲み物の準備をしながら）……こないださ、藤やん帰った後、ウメのヤローさらにしこたま飲んで、イノさん残して運転代行呼んで帰りやがった

藤長 運転代行？

かの子 あたし、タクシー代行させてる人、初めて見たよ

藤長 それ、いいのかよ

かの子 ちゃっかり表示のところ「割増」にしてさ

藤長 バカだねえ

かの子 そんな、残ったイノさんが支払うかと思ったら、あの人全然お金持っていないじゃないか

藤長 え、ウメのオゴリじゃなかったの？

かの子 全然。バカタクシーはなんにも出さずに、ご機嫌で帰ったわよ

藤長 そりゃ悪かったな。連絡くれればよかったのに（財布を探る）

かの子 あ、いいのいいの

藤長 いや、だってよ

奥からキクが入ってくる。

キク （かの子に）早くない？

かの子 いいよ、まだ出てこなくて

キク あ、藤やん

藤長 お、キクちゃん。相変わらず寡黙かい？

キク ……

藤長 寡黙だねえ

キク ……仕込み、戻るね

かの子 よろしく



キク、去る。

藤長 ブレないよねえ

かの子 でしょ。オカマがみんな陽気なおしゃべりとは限らないんだから。  
ああいうコだっているの

藤長 そうなんだねえ

かの子 あのコ、……元警官よ

藤長 え。……えっ？

かの子 藤やんが聞きたいネタ、何か持ってるかもねえ

藤長 キクちゃんが……意外だな

かの子 でも簡単には話してくれないだろうなあ。高いお酒頼んでくれたら、  
舌も滑らかになるかもしれないけれどもお

藤長 そうきたか……

猪戸（声） ママ

猪戸、割烹着姿で出て来る。手には漬け物の入った器。

猪戸 ちょっと浅いかもしんない（器をかの子に差し出しつつ） ん？

藤長 ……え？

猪戸 あ、藤やんじゃーん

藤長 イノさん？ 何して……、え、なんでまだ？ なに、この状況

猪戸 いやあ、いろいろあつてさあ

かの子 （漬け物食べてる） ん、まあ、こんなもんでしょ

猪戸 そお？ OK

猪戸、出て行く。

かの子 驚いた？ 無銭飲食の罰でタダ働きしてんの。今どき珍しいでしょう？  
藤長 そうねえ、本来は珍しいんだけどなあ……

かの子 ん？ でも正直助かつちゃった。イノさん、すごい料理だけじゃない  
のよ。掃除に洗濯、内装、経理、何でも過剰にこなしちゃうんだから  
藤長 そういや、幾分小ざっぱりしたような

かの子 あの花も「黄色を南東に置いておくと、血液がサラサラになる」って  
藤長 風水？ それ、風水か？

かの子　ねえ、あたし幾分、顔つきスッキリしてない？

藤長　……そおか？

かの子　そうよっ

藤長　じゃあ、そうなんじゃない？

かの子　わかんないかねえ。偏頭痛から解放されたこの晴れやかな表情が

藤長　いや、見た目だけじゃちよっ

かの子　これもイノさんが治しちゃったの

藤長　え？

かの子　骨盤だつて。原因は骨盤だったのよう

猪戸、出てくる。

猪戸　いやいや、あのね、正確には……股関節（キメ顔）

かの子　そう、股関節（キメ顔）

猪戸　左右のちよっとしたズレが、腰・肩・首に、そして頭の中まで来ちゃうワケ。毎日何千何万歩と歩いて、知らず知らずのうちに、ちよっどずつ身体を歪ませちゃってるってことあんのよ

藤長　イノさん、なんだい。アンタ、整体もでき、

猪戸　（藤長の首回りを触り出す）

藤長　え、何？

猪戸　ああ。ああ。はいはいはい……

かの子　なんかわかった？

猪戸　藤やんね……太ってる

藤長　知ってるよっ。触る必要ないだろ

猪戸　あとね、顔がデカイ

藤長　見た目だнат、どっちも

猪戸　それで、首に負荷がかかってるね、ちよっど顔小さくするわ（藤長の顔を触り出す）

藤長　え？

かの子　ちよっどちよっど、そんなことできるの？　だったらあたしも、

猪戸　いや、ママはダメ。骨がアレしてるから

かの子　アレって何よ

猪戸　太い

かの子　うるせえよ

猪戸 はい、静かに。集中してるから……うん。息を吸って、吐いて。吸って、吐いて。吸つ、アイツ！（藤長の首を何らかする）

（大層な骨の鳴る音）

猪戸 ……はい、もういいよ

かの子 大丈夫？ 随分な音が

猪戸 （かの子の手鏡を藤長に渡す） ほら、ごらん

藤長 （手鏡で自分の顔を見る） ……小さくなってる

かの子 そうかなあ

藤長 え、わかんない？ ほらあ

かの子 ……う、うん、そうね

猪戸 よかったね。それが、本当のキミだよ（手鏡を覗き込む）

藤長 これが……本当の……ジブン（手鏡の自分にウツトリ）

かの子 ……これも、整体？

猪戸 いやいや、これは「整顔」

かの子 せい、がん？

猪戸 そう、顔の骨を整えるの。俺の師匠くらいになると、もう骨格まで自

由自在。出っ歯がシャクレになるから

かの子 ええっ。ちよつとその師匠の連絡先教えてよ

藤長 ……パーフェクト（鏡の中の自分にウツトリ）

かの子 お。よしっ、じゃあ、祝杯といこうじゃないか、藤やん。（飲み物を

取りに行く）めでたいとなったら……この辺かな（高級そうなボトルを

取る） いいよね？

藤長 （鏡に夢中） うん、それで……

かの子 あいよ、ドンペリ入りまあす（グラスへ注ぎ、準備を始める）

猪戸 ありがとうございまあす

藤長 （鏡に夢中） ありがとう……ジブン

猪戸 しかし藤やん、何？ まだこっちいたの？

藤長 まさか（鏡やめる） 一旦、帰ってまた来たんだよ

かの子 （グラスを持って来ながら） 今度は警察の不祥事探しだって

猪戸 ええ、それをわざわざ？

藤長 おうよ。ここらはいいい感じに腐つてるとみたね

かの子 「熟成」と言っただけいいなあ。じゃあ、はい、カンパーイ

猪戸　ごつつあんでーす  
藤長　（飲む）んまい。何の酒かわかんないけど、美味い  
かの子　（飲んでる）いいからいいから  
猪戸　（飲んでる）こちらで、何か見つけたの？  
藤長　うん。この裏に団地あるだろ。な〜んかジメ〜つとしたところ。こないだ、あそこで聞き込みしてたら、警察の悪態ばっか出てきてよ  
猪戸　悪態？  
藤長　おまわりさんがやりたい放題だつてよ  
猪戸　（犬笛を吹く）……どゆこと？  
藤長　だからさ、こちらの警察は、飲酒運転、交通事故に始まり、暴行、恐喝なんでもござれなのに、身内の事件は揉み消すんだと。さらには、ヤクの手配にまで手を伸ばしてるのもいるつて、今犬笛吹いた？  
猪戸　聴こえた？  
藤長　聴こえねえよ  
キク　呼んだ？（奥から顔を出す）  
藤長　聴こえてんじやねえよつ  
猪戸　あのね、おつまみ的なアレをチョチョイとね  
キク　もお、自分でやりなさいよお（去る）  
藤長　（かの子に）ねえ。キクちゃん、犬笛聴こえるの？  
かの子　元警官だから  
藤長　関係ないだろ  
猪戸　あ、キクちゃん、警察の話知ってんじやない？  
藤長　そう、それさつき聞いたのよ  
猪戸　でもどうだい？キクちゃん、昔のことしやべるかなあ  
藤長　それはちよつと時間をかけてさ  
猪戸　警察の話はどうかなあ  
かの子　大丈夫大丈夫。そこは藤やんのココ次第でしょ  
藤長　ココねえ  
猪戸　ねえねえ、藤やんの言ってた団地つて、その通りの突き当たり？  
藤長　そう、結構デカいとこ  
猪戸　じゃあ、俺ん家だ  
藤長　は？  
猪戸　今あそこに住んでんのよ  
藤長　何それ？

かの子 あたしのツテで入れてやったの

藤長 あのさ、イノさん、何してんの？

猪戸 何って？

藤長 実演販売は？

猪戸 やってるよ、昼間。これが結構稼げんのよ

藤長 こんなところで？

かの子 スーパーの駐車場、道の駅、移動販売のトラック、場所と時間帯さえ絞れば効率のいい商売になるのよ、ココ次第でね

猪戸 全部ママの紹介

かの子 ココが違うわよ

猪戸 びっくりしちやったよ。赤森だけじゃなくて、隣の青田の隅々まで紹介してくれてさ。ママ、顔がデカいんだもん

かの子 やめてよ

猪戸 思ったより売れるもんだから、先週在庫取り寄せて、今俺の部屋ダンボールだらけ

藤長 へえ。で、何売ってんの？

猪戸 大型手動ドライバー付き・組み立て式小型電動ドライバー

藤長 ……は？

猪戸 ん、大型、手動ドライバー付き、組み立て式、小型、電動ドライバー

藤長 え、え、何なの、それ？

猪戸 だから、組み立てる楽しみがある電動ドライバー。でもさ、考えてみて。素手じゃ組み立てられないよね。人差し指でネジは締められないよ。はい、そこで大きくて使いやすい手動ドライバー

藤長 ……なんか始まったな

猪戸 プラスもマイナスもなんでもござれ。帯にたすきに手綱にふんどし、締められないものはありません。しかしどうだい、お立ち会い。やっとこさ組み立てた電動ドライバー。せつかくなら、早速使いたいよね。そんな皆さんのリクエストに応えるために、これをもう一つ付けちゃおう。組み立て式小型電動ドライバー

藤長 同じだな

猪戸 さすがは電動ドライバー、手動で作った半分の時間で組み立てられちゃう。見て見て見て見て。どんどん組み上がっちゃう。ほら、あつという間にもう一つ電動ドライバー

藤長 もうドライバーだらけだよ

猪戸 ………。 (確認する) 大型手動ドライバー、小型電動ドライバー、そ

して、小型電動ドライバー

藤長 多いよ。どれか二つ多いよ

猪戸 そだね

かの子 これが売れるのよねえ

藤長 マジかつ

猪戸 いや、モノも悪くないの。あ、せっかくだから見てやってよ。持ってくるからさ

藤長 え、あんの？

猪戸 うん、ちよっと待ってて

猪戸、奥へ去る。

藤長 え、何これ？

かの子 イノさん、ここでも実演販売してんの

藤長 ここで？

かの子 ことによっちゃ、藤やん買わされるわよ

藤長 買わないだろ、ドライバー三本も

かの子 最初はみんなそう言うんだけどねえ

キク、奥より入って来る。手にはカレーライス。

キク ……はい (カレーをテーブルに置く)

藤長 キクちゃん、これカレーだな

キク カレー、ライス……

藤長 「おつまみのアレをちよちよい」で、なんでこうなった？

キク あ、ごめんなさい、福神漬け

藤長 ちがうちがう、そうじゃない

キク 藤やん、カレー好きそうだから

藤長 いや、好きだけどさ

猪戸、入って来る。手には小箱や手動ドライバー。

かの子、なんか我慢できずにカレーをひと口食べようとする。

猪戸 はいはい、お待たせ。寄ってらっしゃい、見てらっしゃい（箱を藤長の顔に押し付ける）

藤長 寄せるな、寄せるな（抵抗しながら）

（ドアベル） ドアが開く

かの子 いらつしやーい。（ドアへ寄る）ごめんなさいね、カレー食べちゃって（間）……はあ。青田警察の方がわざわざ……。イノさん、警察の人

猪戸 え？

かの子 話聞きたいって

## 6 取調室

対面して座っている小田桐と猪戸。傍に位置して座る小野。

小田桐 では、始めたいと思います

猪戸 あっ、はい

小田桐 私は、あなたの担当になりました、検事の小田桐と言います。こちらは事務官の小野です

小野 小野です

猪戸 ああ、どうも

小田桐 警察の取り調べの際も言われたと思いますが、あなたはこの取り調べにおいて、黙秘する権利、そして公判に臨み、弁護人を依頼する権利があります。よろしいですか？

猪戸 ははっ、おおせのままに

小田桐 ここでは、警察の取り調べの供述調書を元に、裁判によって刑を判断する起訴、もしくは告訴に値しない不起訴、どちらかを決めるために話を聞かせてもらいます

猪戸 えっと、はい。で、ボクは何をしますデスカ？

小田桐 こちらからの質問に正直に答えてもらえたら、それでいいです

猪戸 正直、得意です

小田桐 それではまず、名前と年齢を聞かせてください

猪戸 はい。名前……、猪戸佐平次。……二十八才、……乙女座のB型、

小田桐 はい、聞かれたことだけ答えるように。小野さん

小野 いて座のAB型  
小田桐 聞いてません。星座と血液型は記録しなくていいです  
小野 ああ、はいはい。オトビーは消す、と  
小田桐 出身地は？  
猪戸 南部（なんぶ）郡、南川（みなみがわ）……  
小田桐 なぜ、四色郡へ来たんですか？ おひとりで来るような観光地でもない  
でしょう  
猪戸 ええと、そうさね、お客さんとの出会いを求めて、ですかね  
小田桐 出張で、いいですか？  
猪戸 それでいいかな  
小田桐 仕事は何を？  
猪戸 物売り、だね  
小田桐 具体的に  
猪戸 それが具体的にできないのよ。何でも売るから  
小田桐 警察での調書には「実演販売」とありますが  
猪戸 なんだ、そういうのあるんじゃない。じゃあ、その通り。実演販売  
小田桐 これまで取り扱った商品は？  
猪戸 そんなの挙げてったらキリがないよ  
小田桐 参考までにいくつか  
猪戸 そうさねえ、穴開き包丁に始まり、強力洗剤マジカルマジックリン、ア  
ブブレード、アブフレイム、アブプレッシャー、アブハードプレッシャ  
ー、アブパッド、アブシックスパッド、アブマジックリン、  
小田桐 止めて。……その、アブ、アブなんとかの一連はなんですか？  
猪戸 あれ、検事さん知らないの？ アブトレーニングシリーズ  
小田桐 ……聞いたことがないですね  
猪戸 腹筋よ、腹筋。鍛えて引き締めるの  
小田桐 それを、……あなたが販売していた？  
猪戸 そうよ

間。

小野 （吹き笑い・猪戸のぽっちゃり体型がおかしい）  
猪戸 あ、笑った。笑うなよ、小野ちゃん  
小野 （笑）だって、腹筋どこ？



猪戸 お腹でしょう。腹筋はお腹でしように。ちが、違うんだって。俺だって  
当時は腹筋の区画整理が、こう縦横無尽にビシビシッと

小田桐 はい、わかりました

猪戸 板チョコか？板チョコなのか？てくらいに

小野 それは、森永？明治？

猪戸 （腹を触りながら）森永、明治と来たら、ここは紗々だな

小田桐 もういいです、腹筋は

猪戸 ……怒られちゃったじゃねえか（小野に）

小田桐 それで、こちらでは何を実演販売していたんですか？

猪戸 大型手動ドライバー付き・組み立て式小型電動ドライバー

小田桐 大型……（アタマを整理する）、……長い話になりそうですね

猪戸 何が何が？

小田桐 大型、手動ドライバー、付き……、組み立て式、小型、電動ドライバー

……。ニーズはどこに？

猪戸 いや、それは……ホントだね。どう、小野ちゃん？

小野 それは、腹筋にどんな効果が？

猪戸 ううん、関係ない。腹筋もう終わったから

小野 お。検事、終わっていたそうです

小田桐 ……商品の話は置いておきましょう。それを四色郡各所で販売していた  
ということですが、経緯を聞かせて下さい

猪戸 それは、あれですよ。スナックかの子のママのツテだったり、かの子で  
仲良くなったお客さんのつながりで

小田桐 青田のスーパーは、その赤森のスナックの店主の紹介ですか？

猪戸 そう、ママの紹介

小田桐 なるほど。で、その青田のスーパーマルダイの駐車場で、拳銃の組み立  
てを依頼された、と

猪戸 ……

小田桐 （書類を読む）あなたは青田のスーパー・マルダイの駐車場で、黒いス  
タジアムジャンパーを着た暴力団員風の男に、拳銃の組み立ての依頼を  
受け、十丁分の拳銃の部品を、宅配便にて赤森団地B棟三〇三号室で受  
け取った。そして後日、あなたも立ち会いの元、警察が三〇三号室を調  
査したところ、九丁分の拳銃の部品が発見された……。間違いありません  
ね？

猪戸 そう書いてあるんだね？

小田桐 ええ。あなたが警察で自供したことがそのまま。これだけ素直に話してくれていれば、こちらとしても調書が作りやすいです。では始めに、十月十日の青田のスーパーでの接触ですが、

猪戸 あ、ちよつとちよつと

小田桐 はい、なんでしよう？

猪戸 俺さ、そんな話、警察でしてないんだよね

小田桐 ……どういことですか？

猪戸 いや、全然話してないの、拳銃の組み立て依頼のくだり

小田桐 しかし、ここに……

猪戸 「あとは検察で詳しく聞いてもらえるように、書類つくっておくから」  
つて、警察の人は言ってたけど

小田桐 つまり、この拳銃所持の容疑については

猪戸 全然

小田桐 全面否認、ということですか？

猪戸 うん、よくわかんないけど、「やってない」って意味なら、そう。全面否認

小田桐 ……長い、話になりそうですね

## 7 スナックかの子

かの子、ポッキー等を食べながら、雑誌等を読む。

キク、カウンターでグラスを磨く。

(ドアベル) 藤長が入って来る

かの子 お、時間通り

藤長 当然。時間くらい守れないとやってけないよ

かの子 立派立派。ま、座りなよ

藤長 へいへい、どうもつと(座る) ああ、ゆったりするね。仕事の話にや  
向かねえや

かの子 仕事に、なりそうなのかい？

藤長 ツテを頼つて、地元紙のサツ回りに話を聞いてきたからなあ

かの子 へえ

藤長 こっちもお仕事してネタを返さないと、格好つかないワケよ  
かの子 なるほどね

藤長 じゃ、順を追って話すぞ。……まず、警察での取り調べはさっさと終わ

って、イノさんは検察へ送検済みだ。現在、弁護士以外、接見禁止

かの子 送検なんだ……

藤長 見込みは完全にクロ

かの子 え

藤長 検察の取り調べ後、起訴されて有罪判決一直線、といったところだ

かの子 え、ウソ。クロなの？

藤長 容疑者は素直に自供し、容疑を全面的に認めてるそうだ

かの子 いやいや、おかしいでしょ

藤長 どうかな。借金で困った流れモンが、地方で汚いカネに手を出し、お縄

を頂戴、大いに反省。ありがちな話だ

かの子 イノさんは違う

藤長 ああ。……ただ厄介なのは、拳銃の部品がイノさんの部屋から見つかっ

たことだ

かの子 それなんだけども、配送ぎよ、

藤長 (手で制して) まあまあ、最後まで。さらに容疑を固めているのが、「拳

銃の組み立てを依頼した男の目撃情報」と、組み立てた拳銃を「受け取

る予定だった暴力団員の自白」だ

かの子 そんなのが出てんの？

藤長 イノさんが取り調べにどう対応しても、流れのスタートとゴールが固

まっている以上、反論は難しい

かの子 二つともでっ上げに決まってるじゃない

藤長 ……さて、問題はここからだ

かの子 え？

藤長 この事件が発覚したキツカケは、青田在住のオバチャンの通報だ

かの子 ……オバチャン？

藤長 そのオバチャンが、イノさんから「組み立て式・小型ドライバー」を買

って、家に帰って開けてみたら、分解された拳銃が出てきたそうだ

かの子 なんて拳銃の部品が？

藤長 さあな……？

かの子 …… (考え込む)

藤長 さておき、驚いたオバチャンは青田警察に通報

かの子 あ、だから青田警察が、わざわざこっちまで来たのか

藤長 ああ。青田警察とイノさんが同行して九丁分の拳銃部品を発見、そして逮捕。後日、「依頼した男の目撃情報」と、「受け取り役の暴力団員の自白」が出て来た。……って、おかしくないか？

かの子 何が？

藤長 いいか。警察に拳銃が見つかったところで、「それ、ホントは僕が受け取るヤツです」って、ヤクザがわざわざ名乗り出て来るって変だろ？

かの子 あ……ホントだ

藤長 バックれてればいいだけの話じゃねえか

かの子 ねえ、依頼した方の男は？ そいつも出てきたの？

藤長 いや、そいつは目撃証言だけだ。黒いスタジャンを着た、いかにもな風体の男とイノさんが、拳銃の話をしてるのを見聞きした人間が、数人いるらしい

かの子 そっちはバックれたんだ

藤長 もしくは、目撃証言がウソってセンもあるんじゃないか

かの子 ちよつと待って。……ってことはさ、藤やんの話をもとめると、イノさんは暴力団にハマられてるってこと？

藤長 証明はできないんだがな

かの子 証明ねえ……

藤長 ただ、状況から判断するに、こんな無理は「取り調べる側」の協力なしには成立しない……

かの子 取り調べる側って、つまり……？

藤長 おまわりさんだな

かの子 うそお……

キク、出て行く。

藤長 その辺の話を、関係者に聞いてみたかったんだがね、新旧問わず

かの子 言ったでしょ、話したがらないの

藤長 辞めたんだからいいじゃねえか

かの子 そうもいかないんだろ

藤長 冷たいねえ

かの子 あのコだつて心配してる

藤長 だったらよ、

かの子 それとこれとは話が別なんじゃない？

藤長　へえ、さいでございますかあ  
かの子　あのコに関しちや、期待しないでもらおうか  
藤長　へいへい。ママは？  
かの子　は？  
藤長　この話にまだ首つつ込む気なの？  
かの子　そうね。できることはやろうと思ってる  
藤長　そ。まあ、素人さんはほどほどに  
かの子　お気遣いどうも

キク、潜入スパイっぽい格好で出て来る。全身黒・ヘッドセット付き。

藤長　キクちゃん、その格好は……

キク　いいかい、これから話すことはアタイのひとりごとだよ。どうか気にしないでおくれ

藤長　え、何？（かの子に）

かの子　さあ？

キク　今日のアタイのひとりごとは、大きく分けて二つ（歩き回り出す）

かの子　プレゼン？プレゼンなの？

藤長　前、出てきた

キク　「警察の点数稼ぎ」と「四色郡警察と暴力団の関係」について、なんだよなあ

かの子　ひとりごとの体よ（藤長に）

藤長　ええ……

キク　まず一つ目。警察は検挙する犯罪ごとに点数が決まっていて、中でも拳銃の押収は高得点。そして押収した拳銃の数ごとに配点されるの。よねえ……

かの子　じゃあ、今回の十丁の拳銃は、青田警察にとっておいしい得点なワケだ

キク　ご名答

藤長　会話しちやったよ

キク　二つ目

藤長　区切った

キク　四色郡の警察は、警官個人レベルで暴力団員と裏でつながってる

藤長　お、出た出た

キク 個人的に暴力団員を子飼いにして、己の点数稼ぎのために立ち回らせる。そして自分は「優秀な警官」として、どんどん出世していく

かの子 それが、今回のイノさんの件と、どう関係してるの？

キク わからない？ 拳銃の受け取り役として自首してきた人物は、きっと青田警察の子飼いの暴力団員。でっち上げの容疑を固めるために出てきたの

かの子 藤やんの言ってた通り

藤長 証拠はあるかい？

キク ……

藤長 だよなあ……

かの子 どうしたらいいの、こういう時

藤長 おまわりさんに訴えますか？

かの子 冗談。こういう時こそ、「ペンは強し」じゃないの？

藤長 憶測で書けるネタでもなし、ウラを取ろうとしたら、命がいくつあっても足りねえなあ

キク (ため息) ……ひとりが過ぎたわ

藤長 まったくだ

キク (出て行こうとする)

かの子 ねえ、キク

キク (止まる)

かの子 あんたの「ひとりごと」、初めて聞いた。……どうして？

キク ……さあ？ ひとりごとだから、よくわかんない

藤長 めんどくせえなあ

キク ……イノさん、アタイを変えてくれたんだ

かの子 え？

キク 借りを返さないよ

かの子 借りって？

キク あの人、アタイの悩み、吹き飛ばしてくれた

かの子 悩み……？

キク ……。イノさん……、アタイを二重にしてくれた

かの子・藤長 ……

キク 警察と暴力団の関係は、アタイに任せて……

キク、外へ出て行く(ドアベル)

かの子 ……気づいた？（まぶたを指差し）  
藤長 いや……

8 取調室

自席に着いて、事務作業をする小田桐と小野。

小野 ……これ見てください（白紙に描かれたデッサンを見せる）

小田桐 スケッチ、ですか？

小野 ダビデの横顔です

小田桐 はあ……

小野 あまりにだんまりだから、退屈で描いちゃいました

小田桐 ……結構なお御手前で

小野 結局あんなにベラベラしゃべるんなら、始めから話せばいいのに

小田桐 ええ

小野 小田桐さんの粘り勝ちでしたね

小田桐 いつものことです

小野 待つタイプなんです

小田桐 どうでしょう。というより、入口を探すというか…… 過ちを犯す人間は、大抵「せまい世界に生きる被害者意識のバケモノ」になってますから、そのせまい世界にアクセスする糸口を見つけようと心掛けていますへえ。何を言ってるのか、全然わからないです

小田桐 ……そうですか

小野 （デッサンに目を落とす）ダビデ、また帰って来るんだろなあ

小田桐 確かに、繰り返ししてますね

小野 マリファナの何がそんなにいいんですかね？

小田桐 さあ、中毒性のある脳内の化学反応としか……

小野 前に取り調べた被疑者は「パーンってなるからいい」って言ってましたよ

小田桐 擬音ですね

小野 「みんなパーンってなりたいもんなんだ」って。ちよつとわかる気もするんだよなあ

小田桐 小野さん

小野 はい。例の部長検事も激務で「パーン」ってなりたくなっただんですかね  
小田桐 ………

小野 おっと、発言には注意してください

小田桐 ……鶴田検事は、立派な方でしたよ

小野 あれ、お知り合いですか？

小田桐 ええ。まあ……

小野 あ、いけないっ！

小田桐 どうしました？

小野 今日はピータンの日だ

小田桐 ピ、ピータンの日？

小野 あ、祝日じゃないですよ

小田桐 わかります

小野 自家製のピータンを二ヶ月ぶりに土から掘り起こす日なんです

小田桐 ……決まってるんですね

小野 あたしが決めました（キリッ）

小田桐 そうですか

小野 失礼します（キリッ）

小野、出て行く（ガチャ、ボタン）

小田桐、しばしボンヤリし、次第に考え込む。そして、電話をかける。

小田桐 ……あ、夜分にすみません。北東支部の小田桐です。……先日はお世話になりました。……あのですね、猪戸の案件の証拠物を実際に見たいのですが……、いえ、特に問題はありません。確認したいことがあります。……ええ、これから伺ってもよろしい……

## 9 キク・ハード

暗転中。♪ダイ・ハードの曲がかかる。

ほどよく盛り上がったところで、曲が止まる。

明転。

キク、ダクト（細い通路）に這って来て、ジッポで火を灯す。

キク ……まったく、結局いつも、ツイてないぜ



暗転。

10 接見室

穴の開いた透明な板を挟み（イメージ）、椅子がひとつずつ  
かの子が座っている。

（ガチャ、ボタン）猪戸、部屋に入ってくる。

猪戸 あれ、ママ

かの子 イノさん

猪戸 あれ、部屋間違えたかな

かの子 大丈夫大丈夫、合ってる

猪戸 あ、そう……？

かの子 イノさん、ちよつと痩せ……てないね

猪戸 そらそうだ。四、五日そこらで痩せられると思うんじゃないよ

かの子 なんだろう、ムカつく

猪戸 ん〜……ん？

かの子 何？

猪戸 俺さ、弁護士以外と接見禁止って聞いてたんだけど、ママは何？ 特例？

かの子 んなバカな

猪戸 骨太？

かの子 骨太だけどうるせえよ

猪戸 えつと、これどうなってるの？

かの子 あたし、弁護士だから

猪戸 ……

かの子 あたし、弁護士だから

猪戸 ……

かの子 あたし、弁、

猪戸 おあいそ〜（室外の人員に向けて）

かの子 ちよつとちよつと、何「おあいそ」って

猪戸 ええ、ウツソだあ〜

かの子 ウソじゃないわよ。今この場にいることが何よりの証明でしょ。はい、  
バッジ（襟元を見せる）

猪戸 え……、ホントなの？  
かの子 めんどくさいなあ。イノさんのお兄さんに連絡して、あたしが就くことになったの  
猪戸 ええ……。弁護士つて、スナックの片手間でできるの？ ん、逆か？  
かの子 本業はスナック。だから、こんな風に弁護士ヅラするのは特例  
猪戸 え、でもさあ  
かの子 変？ でもあたしはしつくりきてるの。雑談の場で法律の相談ができれば、喜ぶ人だっているでしょ  
猪戸 そうかもしないけど  
かの子 もちろん初めからこうじゃなかったわよ。あたしだって、色々と「大人の女の事情」があつて、今があるんだから……  
猪戸 あっそう  
かの子 聞けよつ、「大人の女の事情」！  
猪戸 え？  
かの子 普通「大人の女の事情」なんて言われたら、「何なに？ お、大人のう？ 大人の女の事情う？」って気になるだろうが  
猪戸 知らないよ。話したきや勝手に話しなよ  
かの子 そんなの、接見室でする話じゃないわよ  
猪戸 何なんだよ、どうしたいのかわかんないよ  
かの子 とにかく、あたしがイノさんの弁護士として全面的にサポートします。いい？  
猪戸 ご面倒おかけしやす  
かの子 ううん、いいの。今回の件、あの団地もスーパーも、あたしの紹介から始まったことだしさ  
猪戸 やめてよ。ママに落ち度なんてないからね  
かの子 いや、でも……  
猪戸 え、何？  
かの子 あの部屋の隣りが、「拳銃の組み立て」で稼いでるってウワサ聞いたことあつたし  
猪戸 あ、そうなんだ……  
かの子 もっとも、イノさんが捕まった時点で「もぬけのから」だったから、証拠なんてないけどね  
猪戸 そりゃそうか

かの子 だから今回の事件は、配送業者の誤配から始まった災難だって、あたしは確信してる。ただ、誤配の証明がどうにもねえ……

猪戸 あれは？ 伝票の控えとか

かの子 それが見せてくれないのよ

猪戸 え、宅配業者が？

かの子 おまわりさん

猪戸 おつと……？

かの子 知らぬ存ぜぬで門前払い

猪戸 ……なんかさ、マズくない？

かの子 あたしもそう思う

猪戸 あれ、まいったな。んー、せめてオバチャンに売る前に、中身を確認しときゃあねえ

かの子 そんなの間違える？ 普通

猪戸 いや、箱がそっくりでさあ、つい

かの子 あのねえ、……やめよ、言ってもしょうがない。とにかく、こっちは動き回ってみるから、もうちよつと待ってて

猪戸 うん、お任せしやす。……でさ、

かの子 ん？

猪戸 俺は何かできないのかな？

かの子 そうねえ……。取り調べはもう始まった？

猪戸 うん

かの子 じゃあねえ……

11 取調室

対面して座っている小田桐と猪戸。傍に位置して座る小野。

小田桐 (書類を見て) つまり、前回のあなたのあなたの供述をまとめると……、配送業者の誤配で届けられた拳銃部品と、小型ドライバーの在庫を間違えて売ってしまった。という過失でしかない、ということですね？

猪戸 うん。同じような箱だらけで、紛れちゃったと思うんだよね。それをウツカリさあ

小田桐 …… (考え込む)

猪戸 ねえ、検事さん

小田桐 はい

猪戸 弁護士のパパに話聞いたんだけどさ、このままだと結構重い罪になるらしいじゃんか

小田桐 刑罰を決するのは裁判所の管轄です。ですが、確かに拳銃所持、それも計十丁ともなると、罪は重くなるというのは、概ね正しい見解です

猪戸 おかしな話だよ、だって俺あ何にもしてないのに

小田桐 ……ええ、そういったあなたの供述と、集まって来た情報を比較検討して、起訴・不起訴を決するのがこの取り調べです

猪戸 んな最もらしいこと言ってるけど、結局はお宅らの作った筋書きに合わせる、俺にしゃべらせるだけでしょ

小田桐 ……弁護士から何らかの指導があった、と見受けられますが

猪戸 あ、分かる？ そうそう、弁護士のママの影響

小田桐 つまり、容疑を認める気はない、ということですね？

猪戸 うん、サインはしないよ。だって、俺はスーパーでそんなスタジャン男と話してないの、わかってんだもん

小田桐 あなたがそう供述している、というだけの話です

猪戸 ところでさ、弁護士のママが言ってたよ。この辺の警察と暴力団の癒着って、ひどいらしいじゃん

小田桐 ……。何をバカな

猪戸 なに、今の間は

小田桐 いや、間なんて全然

猪戸 いやいや、変な間あったよね？（小野に）

小野 あの、気になったことがあるんですけど

猪戸 お、なんだい？

小野 どうして、担当弁護士のお母さんにそんなに信頼を？

猪戸 ……ん？

小野 弁護士のママ……。なぜ弁護士本人ではなく、そのお母さん？

猪戸 ……。えつと、

小野 特殊お母さん？

猪戸 特殊お母さん？

小野 特殊お母さん？

小野 ですが猪戸さん。いい大人が「母親」のことを「ママ」と言うのは、ちよつと恥ずかしいですよ？

小田桐 小野さん

小野 はい、小野です

小田桐 ……異例かと思いますが、外してもらっていいのでしょうか？  
小野 あたし、怒られています……？  
小田桐 怒ってません、大丈夫です。ですから……  
小野 わかりました……。反省して廊下で待っています（立ち上がる）  
小田桐 いえ、反省せず、座って待機していて下さい。お願いします  
小野 はい（立ち上がる）……反省せずに、座る？

小野、ブツブツ言いながら外へ出て行く（ガチャ、ボタン）

猪戸 ……あのさ、公務員の採用基準てのは、

小田桐 彼女が特殊なだけです。気になさらず

猪戸 あ、そう

小田桐 （立ち上がり、逡巡する）

猪戸 ……。……殴られるワケじゃないよね？

小田桐 は？……まさか

猪戸 よかった。そうね、そうよ、そういうタイプには見えない

小田桐 ……

猪戸 ……よほど、言いにくいことがあると見えるね

小田桐 ……そうですね。……これからお話しすることは、オフレコでお願いします  
ます

猪戸 「オフレコ」ってのは、つまりコレかい？（口の前で×）

小田桐 ええ、ここだけの話です

猪戸 え、何？構えちゃうね

小田桐 仮に、あなたが証言してくれた話が事実だととして、警察が上げてきた調書がでっち上げだった場合……、

猪戸 お、なんだ、どうした？

小田桐 それは……由々しき事態だと、思います

猪戸 うん、そう。由々しいね、由々しいよ

小田桐 仮に、そうだった場合、……個人的には、あなたを不起訴にするのも判断のひとつだと考えられます

猪戸 俺と検事さんの話し合いなんだから、「個人的」で問題ないじゃん

小田桐 いえ、検察としては、あなたを不起訴にする気はありません

猪戸 おやおや

小田桐 …… 検察官は独任官庁。個人の判断で起訴・不起訴を決められることになっ  
ています。しかし実際は、上長の決済印がなければ何も通りません  
猪戸 ふん、どこの組織もおんなじだね

小田桐 例え、私が不起訴の判断をしたとしても、解任されて別の検事が起訴  
の決定を下すでしょう

猪戸 ええ、まいったね、こりゃ

小田桐 …… 私は、この四色郡に来て、まだ半月も経っていません

猪戸 おん？

小田桐 それでも、この地域の警察と暴力団の結びつきが強いことはわかります  
猪戸 言っちゃったね

小田桐 そして警察と検察は、権威維持のためには協力を惜しみません

猪戸 うんうん。で、つまる所、何が言いたいんだい？

小田桐 つまり、あなたに不利な証言と証拠は覆ることがない、ということですよ  
猪戸 おおっと……

小田桐 スタジャンの男とあなたが話していた、という目撃証言は、「あっても  
おかしくない」ように周到に準備されており、否定できないものになっ  
ているでしょう。警察の意志があれば、それができます

猪戸 あのさ、警察はなんでそんなことしちゃうの？

小田桐 犯人がいなければ犯罪は成立せず、十丁の拳銃が成績に計上されないか  
らです

猪戸 じゃ、何？ 俺は警察の成績のために犠牲になるってこと？

小田桐 ……

猪戸 ちよつと勘弁してよ。そりゃ、たまらないよ

小田桐 私の個人的な見解を言えば、あなたが問われるべき罪は、配送物の中身  
を確認もせずに売りさばいてしまったという、遺失物横領罪。そして、  
過失とは言え、市民に恐怖を与えてしまったこと

猪戸 だからそれは、箱がそっくりで、

小田桐 (遮る) それだけです

猪戸 ……うん

小田桐 懲役を受けるほどではない

猪戸 それじゃあ、晴れて自由の身に？

小田桐 それはできません

猪戸 ちよ、何なんだよ、上げたり下げたり。喜ばせたとしたら、つれない  
態度で惑わしちやうてさあ。あんた、学園のマドンナかつ

小田桐 私は、……学園のマドンナではありません  
猪戸 知ってるよっ、ためて言うことか  
小田桐 検事です  
猪戸 うるさいよ。カッコつけてんじゃないよ  
小田桐 ……猪戸さん  
猪戸 あんだよ、マダアンナ  
小田桐 懲役刑を免れるために、いま出揃っているカードで勝負してみませんか？  
猪戸 ……は？  
小田桐 あなたを追い込んでいるでっち上げのカードは、残念ながらもう動かせません。であれば、この動かせないでっち上げの「点」を、あなたがでっち上げの「線」で結んで、「事実」をつくるんです  
猪戸 え？ よくわかんないけど、それでどうなるのよ  
小田桐 罪を、本来問われるべき軽いものにします  
猪戸 ん？ ……懲役は？  
小田桐 免れます  
猪戸 え、ホント？ いや、いやいや、そんなうまい話ないでしょ。なんかウラがあるね、これは  
小田桐 そんなことはありません。まず、話だけでも聞いてくれませんか  
猪戸 まあ、聞くだけならね  
小田桐 まず、一つ目の点。あなたは拳銃組み立ての依頼を引き受けた  
猪戸 だから、受けてないって  
小田桐 そこを飲み込んで「事実」をつくるんです  
猪戸 ああ、そうなの？  
小田桐 二つ目。猪戸さんの自宅にはその拳銃の部品・九丁分が存在し、一丁分は販売してしまった  
猪戸 はいはい、受け入れましょう  
小田桐 三つ目。報酬を払う準備のあった受け取り役が存在する  
猪戸 どっから出てきたんだ、そいつは  
小田桐 この三つの点を踏まえた上で、猪戸さんの容疑を軽くしていくことを考えましょう  
猪戸 うん、でもどうだい？ これ三つ揃っていると、俺真っ黒じゃない？  
小田桐 はい  
猪戸 「はい」かよっ

小田桐 ですから、これらの「点」と「点」の間を考えるんです  
猪戸 ……点、……点、……テン？

12 タクシー

運転席に座っている梅津。

(ガチャ) (ボタン) 助手席に藤長が乗り込んで来る。

藤長 出してくれ

梅津 はいよ。どこまで？

藤長 次は新聞社でいい

梅津 へいへい(車を走らせる) ……どうだった、検察は？

藤長 ん、やっぱり正面突破じゃ、どうにもなんねえな

梅津 お役所だもんねえ

藤長 ただ、中庭でよ、ハトにゲンコツせんべいやってる酔狂な女がいてな

梅津 ゲンコツせんべい？

藤長 ああ。それもマルのまま、ポイって

梅津 それ、ハト食えるの？

藤長 いや、硬さと戦ってたが、負けてた

梅津 ゲンコツだもんね

藤長 で、そいつが、イノさんの事件の担当事務官らしくてよ

梅津 へえ

藤長 軽く情報交換してやった

梅津 何かわかった？

藤長 いや、大したことはねえ。担当の検事は急な異動でここに来たばかりだ

とか、バツイチとか

梅津 事件と関係ないね

藤長 ああ。でも、その検事、ちよつと引つかかるんだよなあ(手帳を見る)

梅津 お、ブン屋の勘かい？

藤長 まあな

梅津 それで？ 情報交換で、藤やんは何を教えたげたの？

藤長 まあ、どうでもいいヤツをチョチョイとな

13 取調室



小田桐 いいですか。始めに、猪戸さんがスタジャンの男から依頼を受け、中年女性に拳銃を販売してしまうまで、何を考えてどう行動したかはわかっていません

猪戸 はい、わかっています

小田桐 その隙間を考えることで、情状酌量の余地をつくっていきましよう

猪戸 はい、よくわかりません

小田桐 「点」と「点」の間を、でっち上げの「線」で結ぶ、ということですよんうん。結局わかんないから、話進めて

猪戸 ここで重要なのは「スタジャンの男は存在しない」ということです

小田桐 お、そうなんだよ。存在しないんだよ

猪戸 つまり、その男と猪戸さんが話した内容というのも……？

小田桐 存在しないよね

猪戸 ええ。ですからそれを、でっち上げるんです

猪戸 あ、そういうこと。……え、でもそう言われてもなあ

小田桐 こういふのはどうでしょう

猪戸 お、何だ何だ。言っただけ

小田桐 猪戸さんは、そのスタジャンの男に脅されていたことにするんです

猪戸 脅されて？ え、どういうこと？

小田桐 依頼を引き受けなかった場合、スナックかの子に営業妨害をすると脅されていた、ということですよ

猪戸 あ、それは困るね

小田桐 それを避けるために承諾したことにしましょう

猪戸 おお。でもさ、なんでわざわざ俺を脅すのよ？

小田桐 それは警察の調書通りに「地元の間ではなく、足が付きにくい」「実

演販売で披露していた手先の器用さを見込まれた」

猪戸 ほほう。じゃあ、俺はあれだな、スナックかの子を守るために、身を挺して依頼を引き受けてしまったんだね。うん。それでそれで？ この後俺はどうなっていくの？

小田桐 依頼は実行され、十丁分の拳銃部品が猪戸さんの部屋へ届けられてしま

猪戸 います

小田桐 かあ……、そんな時苦悩したろうなあ、俺は

小田桐 そうですね

猪戸 あ、警察に通報したらいいよ

小田桐

猪戸

小田桐

猪戸

小田桐

猪戸

小田桐

猪戸

小田桐

小田桐 ダメです。警察と暴力団はつながっています。通報しても、結局スナックかの子に被害が及んでしまいます

猪戸 ちくしょう、スタジャンめえ。架空のくせに汚いマネしやがってえ

小田桐 猪戸さんは考えに考え、一案を思いつきます

猪戸 よしっ、いいぞ！なんだ？

小田桐 ウツカリするんです

猪戸 よしっ、ウツカリするんです！

小田桐 はい

猪戸 よしっ、全くわかんねえ。え、なんだい？ ウツカリってのは、ウツカリしようと思っただけのことかい？

小田桐 いえ、後々「ウツカリしてしまっただけ」と取り調べで証言するために、確信的に行動するんです

猪戸 え、何なに？ どういうこと？

小田桐 猪戸さんは確信的に、ドライバーの部品と拳銃の部品を間違えて、客の中年女性に売りさばくんです

猪戸 いや、あれはホントにウツカリだったのよ

小田桐 はい、それを「あえてやったこと」にしてしまっただけです

猪戸 え、そうなるとうなるの？

小田桐 猪戸さんの狙いは「関係のない第三者に、警察へ通報してもらったことだった」ということになりす

猪戸 お、なんだなんだ

小田桐 さすがの暴力団も、何も知らない中年女性に危害は加えないし、警察も善意の通報は簡単にもみ消せない。現に拳銃部品が中年女性の手元にあるワケです

猪戸 つまり、「オバチャンを使う」ってことかい？

小田桐 ええ。猪戸さんは「中年女性にSOS作戦」を実行するんです

猪戸 「中年女性にSOS作戦」……

小田桐 そう。確信的にウツカリを装って

猪戸 いいねえ。でかしたっ。よく考えた、俺っ

小田桐 そして、計画通り事が運び、猪戸さんは警察に逮捕されます

猪戸 「身を挺して」だからね

小田桐 暴力団とつながっている警察では言われるがままに調書を作られてしまったが、

猪戸 そりゃもう、流れるように

小田桐 警察の手を離れ、検察に送られてから、ようやく真相を話し出すんです。「実はオバチャンへの販売はSOSだったんです」と

猪戸 よっ、待ってましたっ

小田桐 以上が、すでに揃っている「点」と「点」を崩さずに、猪戸さんの罪を軽くする、でっち上げの「線」です

猪戸 でっち上げたねえ。でさ、

小田桐 はい

猪戸 その結果、俺はどうなるの？

小田桐 そうですね。金銭目当ての拳銃組み立て屋から、脅しを受けて悩み苦しんだ被害者に、存在が変わります

猪戸 おおっと。人生つで一瞬で変わるんだね。俺、シンデレラじゃん

小田桐 結果、情状酌量の余地アリで罪は軽くなり、略式起訴で釈放。微罪処分分で済むでしょう

猪戸 おお、ありがとう！……えっと、じゃあ、これでいいの？

小田桐 ええ、やってみる価値はあると思います

猪戸 よーし、やってみよう、やってみよう

小田桐 それでは、事務官を呼んで今の話を調書にします。おさらいしておいてください

猪戸 え、お、そうか。覚えてるかな

小田桐 私が助け舟を出しますから

猪戸 ああ、そいつは助かる。(おさらいする)……えっと、脅されて……スナックかの子が……SOSの代わりに……

小田桐 (おさらいの間に電話をかける)……小田桐です。お待たせしました。……お願いできますか？……はい(電話を切る) すぐに来ますから、お待ちを

猪戸 (ブツブツとおさらい)

小田桐 まあ、気負わず

猪戸 (トップギアで)脅されてたんですっ、仕方がなかったんですっ

小田桐 はい、そうですね。基本はいいですよ。もう少し力を抜いて

猪戸 うまくできマスデスかなあ(日本語へん)

小田桐 大丈夫です。質問するのは私。助け舟を出すのも私。この話を考えたのも私なんですから

猪戸 おお、なんて心強い。アンタ、俺の弁護士？

小田桐 検事です。逆、逆です

猪戸 ああ、逆に検事

小田桐 いや、「逆に」というか

猪戸 逆検事

小田桐 逆検事？

(ガチャ、ボタン) 小野、入る。口の周りに食べカスが付いている。

小田桐 色々とお話をしまして、猪戸さんから事件について詳しく聞かせてもらえそうです。準備をお願いしま……、小野さん。口の周りに何か付いてますよ

小野 (食べカスを取る) これですか？ これはゲンコツせんべいです

小田桐 いや、何が付いてるか質問したワケじゃなくて

小野 ところで、小田桐さん(寄る) 重要な情報をブン屋から手に入れてやりましたよ

小田桐 ブン屋？

小野 猪戸さんの情報です

小田桐 え。……なんででしょう

小野 猪戸さんの、最初の奥さん、……エレベーターガールです

小田桐 ……はい

小野 そしてなんと、二人目の奥さんは、……演歌歌手です

小田桐 ……

小野 出会いが気になりませんか？

小田桐 ……いえ

猪戸 田舎のスーパーの駐車場で、俺は穴開き包丁の販売、元カミさんは売れない演歌歌手でテープの販売。終わって一緒に飲みに行つて、「北酒場」だよ

小田桐 だそうです

小野 (食べカスをゆっくり食べる) ……スピード解決

小田桐 記者とは他にどんな話を？

小野 ……あの、あたし、この二分間をなかったことにするんで、お二人も付き合ってください。はいっ(強めに手を叩く) ……き、調書ですね。ハイッ!

猪戸 ……すごい

梅津、タクシーの運転席で唄っている。  
唄の途中で、かの子、藤長もタクシーに乗り込む。

(♪北酒場)

梅津 北の酒場通りには 長い髪の女が似合う

かの子 (別エリア) ちよっとお人好きがいい 口説かれ上手な方がいい

梅津 今夜の恋は タバコの先に 火を点けてくれた人 (藤長、乗り込む)  
からめた指が さだめのように 心を許す

梅津&かの子 (登場!) 北の酒場通りには 女を酔わせる恋がある

藤長 ……どういう状況だ?

梅津 まあまあ、いいじゃない。ちよっと遠回りするくらい。メーター止まつてるんだし。イノさんのためだもん

かの子 そうよ。藤やんのタクシーじゃないんだから、あたしも乗せなさいよ  
藤長 そうじゃなくて。どうしてママが、検察周りをウロチョロしてんのか  
つてんだよ

かの子 あれ? 言ってなかったの?

梅津 だって藤やんだよ?

かの子 まあねえ

藤長 (書類を取り出して)イノさんの担当弁護士、この「青木かの子」って  
やつぱりママか?

かの子 なんだ、知ってんじゃない

藤長 まさかと思っただけどマジか

かの子 どうも初めまして!

藤長 それならそうと早く言えよ

かの子 そんな、地方までゴシップ追っかけて来るようなライターに、ホイホイ  
イ素性なんて明かせるワケないでしょ

藤長 ああ、そうかい。そういう扱いにや慣れてるよ……(ソツポ向く)

梅津 あらら、スネちゃった

かの子 ちよっとスネてる場合? そもそもイノさんがこんなことになったの  
だって、藤やんがこの世に生まれて来たからでしょ?

藤長 さかのぼり過ぎだ、バカっ

梅津　そおかあ、藤やんが生まれて来なければよかったのかあ  
藤長　悲しいこと言うんじゃねえっ。……………(ソッポ向く)

かの子　まあまあ、イノさんから聞き出した、とっておきの情報あげるから、  
機嫌直しなさいよ

藤長　ん？

かの子　イノさんね、高校時代：バレエ部

藤長　なんでえ、普通じゃねえか

かの子　レオタード着る方よ

藤長　そっちかつ

梅津　へえ、今や見る影もないねえ

かの子　結構センスもあったらしいけど、キツくて辞めたんだって

藤長　まあ、そんなもんだろうなあ

梅津　もったいない

かの子　うん、体重も今より二十キロは太ってて、レオタードがキツかったみたい  
たい

藤長　そっちかつ

かの子　肩の内出血がひどくて。ここね、ここ

梅津　わ、かわいそ

藤長　どうでもいいわっ

かの子　はいっ、じゃあ元気が出てきたところで、情報よこしなさい。交換、  
交換

藤長　(ため息)やりたい放題だな。(手帳を開き)……………まあ、これは、イノさんと直接関係ないんだが。ママよ、去年、高検の部長検事が大麻所持で捕まったの覚えてるか？

かの子　そんなんあったね

藤長　アレ、ハメられたらしいのな

かの子　穏やかじゃないね

藤長　捜査費と称して不正にプールしていた裏金の存在を、マスコミに告発する直前に捕まったんだと

かの子　随分とタイミングのいい

藤長　すると、カバンに覚えのないハッパが見つかった……

梅津　わあお

藤長　その捕まった鶴田検事の協力者として、裏金の証拠やら証言を集めていたのが、イノさんを担当している小田桐検事だ

かの子 なに？ 同志つてこと？

藤長 まあな。司法修習生時代の恩師らしい

かの子 そのパターンかあ

藤長 本当は小田桐検事も排除されて当然だったが、検察だつて二人も三人も速捕者出すワケにいかないからよ、とりあえず僻地へ左遷

かの子 おい、ウメ。僻地だつてさ

梅津 僻地かあ。読めるけど書けないなあ。カベ？ あ、カベかあ

藤長 要するにだ、今回の件は、首根っこ掴まれて言いなりに働くしかないキズもの検事が、厄介な案件を押し付けられたつて話だ

かの子 ねえ、それってイノさんにとつては……

藤長 ああ。悪条件がひとつ増えただけだ

梅津 ツいてないねえ

15 バック・トウ・ザ・キク

暗転中。♪バック・トウ・ザ・フューチャーの曲がかかる。

ほどよく盛り上がったところで、「大時計が鳴る音」が重なる。

明転。

キク、足場の悪いところで、コードとコードをつなげるために奮闘。ようやくつなげて、ロープウェイのようにつたつて降りようとする。

キク ワアアーーーー

暗転。

16 部長室

机を挟み、座る月島。立つ小田桐。

月島 ……猪戸の調書……読んだ

小田桐 ……はい

月島 どういうつもりだ？

小田桐 ……

月島 バカにしてるのか？

小田桐 いえ。ご指示は「起訴でまとめよ」とのことでしたので、そのように  
月島 ふざけてるのか？  
小田桐 お言葉ですがこの案件は、拳銃の組み立てを依頼した人間を押さええない  
限り、進めるべきではないことは、明らかで、  
月島 お前に意見など求めていない。仕事をするのか、しないのか。聞きたい  
のはそれだけだ  
小田桐 私は、仕事をしているつもりですが  
月島 こんなもの好き勝手に書き散らかした、子供のお絵描きだ  
小田桐 ……………  
月島 今回の件は私のところで止めておいてやる。バカはこれぐらいにして、  
猪戸をさつさと割って来い……と、言いたいところだが、  
小田桐 はい…………？  
月島 この件は、なかったことにしろ  
小田桐 ……あの、……仰ってる意味が  
月島 押収した拳銃だが、警察が調べ直した結果、殺傷能力もなければ部品も  
不足しているらしい。モデルガンとも言えないシロモノだ  
小田桐 そんなバカなことが  
月島 ああ、バカだ。バカバカしいが、身柄も拘束しているしな、笑いごとで  
は済まない  
小田桐 誤認逮捕、ということでしょうか？  
月島 猪戸は証拠不十分でも何でもいいから、不起訴だ。くれぐれも、拘束の  
非を認めるような内容にはするな  
小田桐 ……あの、  
月島 行け。……仕事をしろ  
小田桐 警察は、なぜ部品の不足にこれまで気づかなかったんでしょうか？  
月島 ……行け、と言ったはずだが  
小田桐 ……………  
月島 話は終わりだ  
小田桐 ……はい

17 接見室

かの子、座っている。

(ガチャ、ボタン) 猪戸、入ってくる。



猪戸 おう

かの子 イノさん、よかったじゃない

猪戸 ん、何が？

かの子 あ、まだ知らないんだ

猪戸 え、何なに？

かの子 イノさん、ここ出られるわよ

猪戸 と、言うと？

かの子 さっき保釈請求の電話かけたら、担当検事と話ができて、近々不起訴処分  
分で釈放になるから、必要ないって

猪戸 え、ホント？

かの子 「証拠不十分」とか言ってたけど、今さら何それ？ って感じよね

猪戸 あ、でもマジだ

かの子 てワケで、もう話し合うこともないのよ

猪戸 おお、そかそか

かの子 大変だったでしょ、勾留生活

猪戸 まあね。でも寝っ転がってても三食出て来るし

かの子 そんな強がり言っちゃって。……ねえ、出てきたら、どうする？

猪戸 どうって？

かの子 またウチで働きながら……、んなワケないか

猪戸 そうねえ、散々迷惑かけちまったし、ゲンも良くないわな

かの子 迷惑かけたのはこっち。……さびしくなるね

猪戸 うん

かの子 弁護士費用はローンでいいぞ

猪戸 お？

かの子 月々振込で。サボるんじゃないよ

猪戸 は〜い……

かの子 じゃ、ここを出たら、まず引越しの準備だね

猪戸 せっかくいろいろ取り寄せたのになあ

かの子 あ、そうだ

猪戸 なに？

かの子 いや、イノさん出て来るし、もう別にいいんだけど、ちょっと気になる  
ことがあってさ

猪戸 ん、何？

かの子 隣の部屋の組み立て屋さ、逃げ足速くない？

猪戸 うん、さすがだよ

かの子 でもさ、イノさんが捕まって、あの部屋の周りは警官だらけになったワケでしょ、一日中

猪戸 そうね

かの子 そんな中、組み立て屋の証拠も残さず逃げるなんて、普通できる？

猪戸 でも、いなかったんでしょう？

かの子 例えば……拳銃部品の誤配に気づいてトングラこいた、とか

猪戸 ああ……、誤配って気づけるの？

かの子 やっぱり勘が良すぎるかあ。ねえ、お隣に会ったりしてない？

猪戸 いいや

かの子 ん

猪戸 でもまあ、何はなくとも外に出られるんだから、いいじゃん

かの子 そうね。……え、何笑ってんの？ 気持ち悪い

猪戸 (笑) いや、ちよつと

かの子 え、何？

猪戸 今日午後から取り調べなんだけど、悪いこと思い付いちやったかの子 何なに？

18 取調室

向かい合って座る、小田桐と猪戸。傍らに座っている小野。

小田桐 ……伝えづらい話が、あります

猪戸 おおっと、なんだろ

小田桐 あなたは、不起訴処分になります

猪戸 (わざとらしく) ええ、何だつてえ

小田桐 あなたの部屋で押収された拳銃の部品ですが、精査したところ発砲に必要部品が不足していたため、殺傷能力はないとの検証結果が出ました

猪戸 うん……つまり、間違えて逮捕しちゃいました、ってこと？

小田桐 いえ……、検察としてはそれでも危険性を鑑み、誤認逮捕と捉えず、証拠不十分として不起訴処分とします

猪戸 証拠、不十分ね……

小田桐 本来ならお詫びを添えたいところですが、それはできません

猪戸 ほ〜ん……。まあ、検事さんもいろいろお立場があるんだよね。……い  
いよ。サインするよ

小田桐 ……助かります

猪戸 ただね、条件がある

小田桐 条件？

猪戸 俺を笑わせて

小田桐 ……は？

猪戸 いや、だつてさ、散々好き勝手振り回されて、お金ももらえないし、謝  
つてももらえないんだよ？

小田桐 ですが、

猪戸 わかるよ、わかる。できないんでしょ、しょうがないよ。だからさ、せ  
めてできることをやつてもらいたいワケ

小田桐 できること……ですか

猪戸 うん。俺好みの笑いを提供してほしい。それが条件

小田桐 ……。それはつまり、私に……ダジャレを言え、ということですか？

猪戸 ……。……うん、なぜダジャレに限定したかはわからないけど、まあ、  
そういうこと

小田桐 ……ダジャレ、ですか。それは弱りましたね。やったことがない

猪戸 やつてやれないことはないって

小田桐 ……少し、時間をくれますか

猪戸 ああ、いくらでも。思いついたら、言ってね

小田桐、長考する。猪戸・小野、待つ。

小田桐、思いつく。……が、やっぱり止める。

しばらくして、また思いつく。

小田桐 (手を挙げる)

猪戸 (促す)

小田桐 シミーズの……、次郎長

間。緊張感、漂う。

小田桐 今のは浪曲で有名な清水の次郎長が、実は下着がシミーズだったら、  
という、

猪戸 (遮る) 却下。次

小田桐、長考する。猪戸・小野、待つ。  
小田桐、思いつく。

小田桐 (手を挙げる)

猪戸 (促す)

小田桐 シミーズ……エスパルス

間。緊張感、漂う。

小田桐 ユニフォームがシミーズのサッカーチームで、長谷川、  
猪戸 (遮る) 却下。次

小田桐、長考する。猪戸・小野、待つ。

小野 (手を挙げる)

猪戸 (意外性に驚くが、促す)

小野 (立ち上がり、小田桐に耳打ちをする)

小田桐 (聞き取って) ……え、それ合ってますか？

小野 (小声で) 大丈夫、大丈夫

小田桐 …… (手を挙げる)

猪戸 (促す)

小田桐 ……ET、……おうち、2LDK

間。緊張感漂う。

猪戸 ……それ、ダジャレ？

小野 はい

猪戸 2L……、そこそこいい暮らし

小野 ええ、ひとり住まいで持て余してます

猪戸 へえ

小田桐 合格ですか？

猪戸 いや、却下

小田桐 ですよ

小野 ええ、シミーズに言われたくない

小田桐 あだ名つぼく呼ぶの止めてください

猪戸 OK OK、ここまで

小田桐 もう少し時間をもらえれば、シミーズ以外にも

猪戸 いいからいいから、サインはするよ

小田桐 え、いいんですか

猪戸 昨日、もう不起訴の話は聞いててさ、ちよつとイタズラしたくなっただけだから

小田桐 それは、何とも迷惑な

猪戸 へっへっへ、楽しんでやった。……シミーズ、エスパルス

小田桐 やめてください

猪戸 へっへっへ。それで、新しい調書ってのはどこ？

小田桐 はい、こちらに……（調書を取り出す）

猪戸 （調書を受け取り）じゃあ、ご拝読

間。

ゆっくり手を挙げる、小野。

小田桐 あ、小野さん、それはもう終りです

小野 いや、でも

小田桐 「でも」じゃなくて、もう結構ですから

小野 そう……ですか（不満そうに手を下ろす）

間。

猪戸 （読み終えて）はいはいはい、読みました

小田桐 これが最後です

猪戸 これまでの取り調べはどこいった？ って感じだけど、釈放されるんだもんね、文句ないよ。さあさあ、サインしちゃいましょう。墨を持ってい

小田桐 小野さん

小野 はい（猪戸にペンを渡す）

猪戸 どうも（受け取る）……へっへ。いやあ、でもさあ、今回はこつちもいい勉強になったよ。結局、偉い人たちのウソには敵わないってさ

小田桐 それは……、その……

猪戸 「正直」とか「本当」とか、何の役にも立たないんだね。もう睨まれたら最後、筋書き通りに動かされるだけなんだもん

小田桐 ……

猪戸 今後は一市民として、偉い人たちのご機嫌を損ねないように、ひっそりと大人しく、前科者として暮らして行きやす

小田桐 ……不起訴処分なら、前科は付きません。逮捕歴は残りますが

猪戸 あ、そう。でも世間にとつちやどつちも一緒だよ

小田桐 ……

猪戸 なあ、検事さん

小田桐 はい

猪戸 これからはさ、俺みたいな無実の前科者を増やしちやダメだよ

小田桐 ……

猪戸 つて、冗談だよ。もお、すぐ真に受けて。マジメなんだからシミーズは

小田桐 ……

猪戸 はい、じゃあ、ここね（サインをしようとする）

小田桐 （調書に手を置き、サインをさせないように止める）

猪戸 え、何？ 何かいた？（小田桐の手を凝視する）

小田桐 ……こんなものは、つくり話です

猪戸 は？

小田桐 サインなんか、しちやいけない

猪戸 え……いや、でもさつき、サインって

小田桐 （座り直し）……イースト・ビッグ&ハイ・グッドネス

猪戸 ……。え、……なんて？

小田桐 イースト・ビッグ&ハイ・グッドネス。見覚え、聞き覚えはないですか？

猪戸 いや……？ 映画のタイトルルか何か？

小田桐 今回の案件に大きく関わっている企業の名前です。記憶にありませんか？

猪戸 いや……？

小田桐 猪戸さん、もうしばらくお付き合いいただけませんか？

猪戸 それは、どゆこと？

小田桐 イチから、取り調べをやり直させて下さい

猪戸 え、イチから？ じゃあ、釈放は？

小田桐 ええ、取り調べが終り次第、判断します。延期です

猪戸 ウツソ。え、俺、なんか怒らせること言っちゃった？ シミーズ  
小田桐 いいえ、その逆です  
猪戸 逆？ ……ええ、逆検事い

19 M・I・K

暗転中。♪ミッシヨンインポッシブルの曲がかかる。  
ほどよく盛り上がったところで、曲が止まる。  
明転。

キク、地面スレスレで吊り下げられている。手には「写るんです」

キク (写真を撮ろうとする) ……ミッシヨン……イン、

暗転。と同時に曲の締め「テレ〜♪」が流れる。

20 スナックかの子

店内、座って手持ち無沙汰な梅津。

かの子、ドアを少し開け、外にいる帰り際の客と話している。

かの子 ありがとうございます。またいらして下さいね。じゃ、気をつけて。  
はいはい〜

(ドアベル)

梅津 はい、お疲れさま

かの子 はい、どうも

梅津 誰、今の？

かの子 さあ、初めて来た人。この辺の人じゃないね

梅津 ええ〜、いちげんさんがわざわざこんな店来るう？

かの子 ん〜…

梅津 あれ、怒らないの？

かの子 でも、この辺のこと知ってる人なんだよね。土地勘があるっていうか  
梅津 なに、昔住んでたとか？

かの子 イノさんがここで働いていたこと知ってた

梅津 最近じゃんか

かの子 ん、誰なんだろう

梅津 ……で、僕はどうしような。(足元に目を落とす) この酔っぱらいの目覚めを待つべきか、追いて消えるべきか

かの子 ちよっと、ちゃんと持って帰りなさいよ。ロングのお客さんなんですよ？

梅津 それもホントかな。不安になってきた

(ドアベル) 藤長、ドアより入って来る。

藤長 こら、ウメ

梅津 あ、藤やん

藤長 「あ、藤やん」じゃねえよ。待ってろって言ったろうが

梅津 ごめん。それが急にお客さんに乗り込まれて強引にさ。検察ってイヤだね、こつちの話聞いてくれないんだもん

藤長 知らねえよ(座る) 余計な体力使わせやがって。(かの子に) ハイボール

かの子 おい、飲む前にやることあんだろ？

藤長 ……エラそうに。まともな情報も寄越さねえで

かの子 ああ？ ……で？ 何かわかったの？

藤長 イノさんの件が、不起訴になる見込みってのは？

かの子 聞いている

藤長 うん。じゃあ、その決定を小田桐検事が先延ばししたことは？

かの子 それも、一応

藤長 お、マジか。さっき聞き出したヤツなのに

かの子 まあ、たまたまね。で、どうして検察は急に不起訴へ方針を変えたの？

藤長 まだわからん。いや、「まだ」ってか、ずっとわかんねえじゃねえか

かの子 何、それ？

藤長 随分な上層部しか把握してない情報なんだと

かの子 上層部しかって、小田桐検事も知らないってこと？

藤長 たぶんな。初めつから訳アリ検事は蚊帳の外だろうよ

小野(声・寝言) 言わせてくれよお……、言わせてくれよ……

藤長 ん、なんだ？ 誰かいるのか？ (見に行く)



梅津 うん。まあ、僕のお客さん、一応  
藤長 こいつ……ゲンコツせんべいの  
かの子 え、知ってんの？  
藤長 いや、ちよつとな。こいつ、イノさんの案件の、  
かの子 聞いた、事務官なんでしょ  
藤長 おお、なんだ。こりやどうなってるんだ？  
かの子 イノさんの所持品を再確認してたわよ  
藤長 なんで今更？  
かの子 検事の気変わりで、イチから調べ直すんだって  
梅津 その人のせいで僕は、藤やんを置き去りにしちゃったワケ  
藤長 言い訳すんじゃないよ。で、検事ご本人様は？  
かの子 まだ検察で資料とにらめっこ  
藤長 ほお。で、こいつはなぜ、ここで寝てんだ？  
かの子 「異常なし」の報告とともにガバガバ飲み出してコレよ  
小野（声・寝言）ん……、ET……、おうち……、二世帯住宅……  
藤長 寝ぼけてんのか？ ……あ（小野の起床に気づく）  
小野 （起きる）ん？ ……ん？ うん。うんうん  
梅津 ……大丈夫、ですかあ？  
小野 （立ち上がる）やつてられねえス。悔しいス  
梅津 うんうん、そうねえ  
小野 言わせてくれよお、言わせてくれってえ  
かの子 また始まった  
藤長 何が？  
梅津 さつきからこの調子でさ  
かの子 なんか、思いついたダジャレを上司に聞いてもらえなくて、荒れてんだって  
藤長 は？ なんで検察でダジャレが……？  
小野 もお、言いたいことも言えない、こんな世の中じゃーい  
藤長 おい、めんどくせえから寝かしとけよ  
かの子 そうねえ  
小野 ポイズン  
梅津 いや、寝かしちゃダメだって。送ってやらないと金になんないから  
藤長 じゃあ、とつとと持ってけ  
小野 （藤長に）へい、ミスター。ダジャレは好きかい？

梅津 はいはい。じゃあ、小野さん。こっち来て。帰るよ  
小野 ええ、どこにい？

梅津 あなたのおうちでしょ

小野 お、いいねえ。行ったことあるよお

梅津 よおし、行こう（促す）

小野 （千鳥足で進みながら）オノ……おうち……帰る（笑）

梅津 うんうん、帰ろう帰ろう。じゃあねえ（かの子たちに）

かの子 はいはい、気をつけて

小野 （去りながら）オノ……おうち……1 L L L K

梅津（声） ええ、リビング多くない？

小野（声） ううん、3つともロフト

（ドアベル）梅津、小野、完全に出て行く。

藤長 ……公務員の採用基準てのは、

かの子 あ、お代

藤長 ああ

かの子 ま、いいか。どこの誰だかわかってるし

藤長 まあな

キク（声） よくやく、ジャマがいなくなったぜ

かの子 この声は、キク？

キク（声） ちっと時間はかかっちゃったが、いろいろ調べさせてもらったぜ

かの子 キク、何？なんなの？

キク（声） そう焦りなさんなって。どうして起訴寸前だったイノさんが、釈

放されるまで状況が変わったか、このアタイが……教えたげるよっ！

（ディレイ効果）

かの子 エコーをぜいたくに使っちゃって

藤長 キクちゃん、どこだ？どこからしゃべってたんだ？

キク、奥入り口から普通に入ってくる。

キク これを見てほしい（写真を持っている）

藤長 普通だなっ

キク え？

藤長 普通に入ってきたな  
キク おん  
藤長 始めから普通に入ってくれば  
キク これを見てほしい（写真を差し出す）  
藤長 え……、何？ 書類の写真？  
キク この記載  
藤長 トイ、パーツ……？  
かの子 おもちゃの部品？  
キク うん。でも「toy parts」と呼ばれていた実際のブツは、拳銃の部品よ  
かの子 え……？ これ何の写真？  
キク これは二週間前の黒部港の入港記録。「toy parts」という名目で、拳銃の部品が密輸されたの  
藤長 その拳銃の部品って、まさか……  
キク うん、イノさんの部屋にあったものと、イコールね  
かの子 キク……、また「ひとりごと」聞かせてもらおうか  
藤長 出た  
キク ……いいかい、これからアタイの言うことは全てひとりごとだよ  
藤長 出た  
キク 「toy parts」を密輸した暴力団は、組み立てた拳銃を売りさばき、その一部を赤森警察に献上していた。セットに犯人役の下っ端を付けてね  
藤長 ああ、例の点数稼ぎか……  
かの子 警察は点数稼ぎの見返りに、犯罪を見逃してるってこと？  
キク もっと悪い  
かの子 は？  
キク ねえ、「toy parts」と書かれていたところで、入管のチェックをすんなり通れるワケないじゃない。「誰か」が手配しないと  
藤長 「誰か」って、……警察  
キク さらに赤森警察は、港から暴力団の倉庫までの道中、安全に搬送するためにパトカーを使用  
かの子 え、パト、パト、  
キク どんな移動手段より安全でしょ  
藤長 イカれてんなあ……  
かの子 じゃあ、イノさんの逮捕は、赤森警察がその拳銃を点数化しようとしたってこと？

キク ううん、ちよつと違う。だって、イノさんを逮捕したのは、赤森警察じやなくて、隣りの青田警察でしょ？

かの子 あ、そうか

キク 青田警察は、イノさんの拳銃が、赤森警察の密輸銃とは知らずに、自分たちの成績に計上しようとしていた

藤長 え、知らなかったのか？

キク 警察と暴力団のつながりだもの。さすがに外には漏らさないし、それを警察同士で探り合いはしない。紳士協定ってどこかな

かの子 ひつどい話……

藤長 つてことはだ、青田警察がイノさんをハメてまで押収した拳銃は、赤森警察が密輸して手に入れた拳銃ってことだよな？

かの子 それ、モメるんじゃない？

キク そうね。でも「ウチの密輸銃返してくれ」なんて正面から言えないじゃない？ そんな厄介な状況に手回しが遅れて、起訴寸前まで行っちゃったってワケ

かの子 え、急に不起訴に転換したのって、その遅れが原因？

キク ええ。あとは青田と赤森、不正をした者同士、よきところでウヤムヤにしておしまい

藤長 かあ。でつち上げの青田警察に、密輸の赤森警察か。ひでえ話だ

かの子 ねえ、キク……

キク なに？

かの子 こんな内部情報、どうやって調べたの？

キク ……ああ、ひとりごとが過ぎたわあ

藤長 出た。ここが出た

キク そうねえ……、あえてひと言で言うなら「大冒険」よ

藤長 ……いや、全然わかんない

かの子 表に出せる証拠は？

キク ない。色々バレて、アタイが消されちまう

藤長 この写真は？

キク そんなの言い逃れがいくらでも効く。そもそも誰が捕まえるの？ おまわりさんを

かの子 ……そうだけど

藤長 でもまあ、いいんじゃないかね

かの子 何が？

藤長 イノさんが釈放なら、別に。悪者を懲らしめなくっても。時代劇じゃあ  
るまいし

かの子 ちよつと待ちなさいよ

藤長 それにどう証拠揃えたって、警察が認めるワケねえぞ。あつちにや、「証  
拠を揉み消せる」って特権があんだから

キク 藤やんの言う通り。アタイもイノさんが帰って来るならそれで十分よ  
もったいねえけどなあ。ネタがデカ過ぎるって……

かの子 あたしはね……

藤長 ん？

かの子 あたしは、警察をひっくり返そうなんて思わない。権力には敵わないし、  
個人の無力さはわかってるつもり

藤長 なんの話だ？

かの子 だけど、泣き寝入りするのはイヤ。何も行動を起こさなかったら、今後  
何も変わらない。ひとつくらい痕跡を残さないと、今回のことがなかつ  
たことになる

藤長 ……ママさ、そういうステキな言い分もわかるけど、「何もしないのが  
最良の選択」ってのが現状だろ。余計な被害者を出さないためじゃんか  
かの子 ……

藤長 打つ手がないんだって。いいじゃんか。なかったことにして、丸く収め  
ようって言うんなら、それで見逃してやりやあ……、ん、……見逃……  
す？（考え込む）……二週間前？

キク どうした、藤やん。顔色がデカイぞ

藤長 うん……。……あの、キクちゃんさ、その暴力団とつながってる赤森警  
察の警官の顔って、わかつたりする？

キク 一応ね。写真はないけど

藤長 そいつさあ……大仏に似てない？

キク そうね、ここにホクロがあった……え？

藤長 （自分のバッグを探り始める）

かの子 なに？ 何か知ってるの？

藤長 ……ママ

かの子 ん？

藤長 痕跡なんて大層なモンは無理だが、ひっかきキズ程度のネタならあるぞ

かの子 え？

藤長 キクちゃん（キクに取り出した写真を見せる）

キク (見る) え……ウメさん? ……と、イノさんだ  
藤長 そうじゃなくて、こっち  
キク こっち……? ……あ、ウソ、やだ、こいつ! 大仏!  
かの子 ちよつと、それ何の写真? (見る) ……ウメと、イノさんと、大仏顔。  
……ていうか、これ、パトカー?  
藤長 ママ、ウメ呼び戻してくれる?  
かの子 え? まだあのコ送ってると思うけど  
藤長 俺、急ぎで行くところだから  
かの子 何、どういうこと?  
藤長 ん、まあアレだ。伸るか反るかのギャンブルだな  
かの子 は?

21 検察前

屋外。地方検察署前。

小田桐が出て来る。

藤長、建物から離れたところで歩み寄る。

藤長 ……どうも、こんばんは。小田桐先生

小田桐 ……なんですか?

藤長 ライターの藤長という者ですが (名刺を出す)

小田桐 (名刺を受け取らず、行こうとする)

藤長 ちよちよちよ、これ見てください、猪戸の写真 (パトカー写真を出す)

小田桐 ん? …… (見る) ん?

藤長 異様でしょ

小田桐 これはなんですか? (写真は受け取らず、覗き込む)

藤長 ちよつと前にタクシーとパトカーが接触事故を起こしましてね。場所は

黒部港。これは直後にキズを検証している最中。で、この大柄な人物が

警察の人間です

小田桐 話が見えてきませんが

藤長 でもって、見てほしいのが、この開いたトランク

小田桐 ……木の箱、ですか?

藤長 はい。そこで次の写真をドーン (toy parts写真を出す)

小田桐 ん……? (写真を勢いで受け取る)

藤長 これは黒部港の入港記録です。中央に「toy parts」ってありますよね？

小田桐 はい……

藤長 それが、トランクの荷物と同一であると考えられます

小田桐 オモチャの部品を、パトカーに……？

藤長 いえ、部品は部品でも、オモチャじゃありません。拳銃です

小田桐 え……

藤長 しかも、密輸のセンが非常に濃い

小田桐 それが、なぜパトカーに……？

藤長 信じがたいですが、警察が密輸の手引きをした、ということですね

小田桐 は、手引き……？

藤長 ちなみにこの事故は、警察の寛大な措置で、おとがめなし。そりやそう  
だ。検証されて困るのは、密輸銃を積んでる警察の方だったんですから  
（薄く笑う）……話が突飛過ぎていて、信用できません。そして、私に  
は関係がない（写真を返す）

藤長 （受け取り）この部品と猪戸の部屋にあったものが、イコールだとし  
ても、ですか？

小田桐 ………

藤長 ……やっぱり。何も知らされてないんですね、小田桐先生には

小田桐 ………

藤長 まあ、立ち話もなんですから、タクシーでお送りしながら説明しますよ。  
さ、さ、こっちへ

小田桐 あなた……これ、書くんですか？

藤長 まさか、書けるワケないでしょ

小田桐 それなら……、なぜこれを私に？

藤長 決まってるじゃないですか。情報提供ですよ

小田桐 ………

藤長 私の考える小田桐検事は、ネタをお伝えすればちゃんと調べる、真っ当  
な検事ですから

小田桐 ………

藤長 仕事を増やして申し訳ないですね

小田桐 ご要望は？

藤長 は？

小田桐 この情報がウソであれば、あなたはタチが悪い、それで済みます。です  
が、本当だった場合、あなたは見返りを求めるでしょう？

藤長 そんなそんな。私は純粹に協力しているだけですよ

小田桐 ……面倒ですね

藤長 ただ、あえて、あえて言うなら、ちよつと聞いてほしいお願いが、あるには、あるんですよねえ

小田桐 なんてでしょう？

藤長 鶴田検事の事件、そして、今回の事件、今は話せないことが多い。そうでしょう？

小田桐 ……

藤長 でも、いずれ話せる時が来るかもしれない……。その時は、この藤長をどうぞごひいきに。ただ、それだけです（再度、名刺を出す）

小田桐 ……（名刺を受け取る）

藤長 まあまあ、お送りの道中、質疑に応じますよ。あ、あそこのタクシー。あの運転手が写真のこっちのヤツです

小田桐 え、本人？（タクシーを見る） ……ん？

藤長 どうしました？

小田桐 後部座席に、部下によく似た女性が……

藤長 あ、それも本人です、小野さん。寝てます

小田桐 は？

藤長 彼女を送った後に、小田桐さんの目的地に向かいますから。まずは黒部港ですかねえ

小田桐 はあ……

藤長 その分、ゆっくりお話できるってことじゃないですかあ。ガハハハ（笑）  
小田桐 ……

22 取調室

机を挟んで座っている、小田桐と猪戸。傍らに座る小野。

猪戸 あれ？ 昨日ちゃんと寝た？

小田桐 ……まあ（書類に目を落としている）

猪戸 なんていうか、堀の中の俺が睡眠バツチリで、シヤバの検事さんが寝不足ってのも変な話だね

小田桐 特に問題ありません

猪戸 そいつあ結構。で、小野ちゃんは飲み過ぎで二日酔いかい？



小野 ……いえ、全然

猪戸 ウソだあ。そんな顔して

小田桐 小野さん、昨日どうやって帰ったか覚えてますか？

小野 ええ、もちろん。気づいたら朝でした

猪戸 覚えてないじゃん

小野 当たり前過ぎて覚えてないんです

小田桐 小野さん、あとで三〇〇〇円ください

小野 ……なんでですか？

小田桐 タクシー代です

小野 え

小田桐 猪戸さん（書類から顔を上げる）

猪戸 はいよ

小田桐 今回の案件をまとめた調書です。目を通してください。問題がなければサインをお願いします（渡す）

猪戸 ……うん（受け取る）何？なんかいつもと雰囲気が違うよね

小田桐 さあ。安堵でしょうか。ようやく適正な調書を作ることができました

猪戸 ふーん、そう

小田桐 ひとつお伝えしておきます。この調書を提出すれば、私は猪戸さんの担当から外されるでしょう。代わりの者が現れて、先日の証拠不十分の不起訴で釈放になると思います。それがわかっているながら、余計な手間を取らせてしまうことを、心苦しく思っています

猪戸 ……随分な前フリだね、期待しちゃうわ。……では、ご拝読（読む）間。

小野 ……あの、私はなぜ、小田桐さんにタクシー代を？

小田桐 立て替えたからです

小野 むむむ……。真相やいかに

23 部長室

机を挟み、座っている月島。立っている小田桐。沈黙。

月島 ……なんだ、これは？

小田桐 新たな供述と追加捜査を元に作成した調書です

月島 私の指示と、随分違うようだが

小田桐 総合的に判断した結果です

月島 私は、お前に創作話を提出しろと言った覚えはない

小田桐 創作ではありません

月島 ならば妄想か

小田桐 いえ。先日、青田警察で保管されている、猪戸の部屋に届いた拳銃部品の配送伝票を見ました

月島 余計なことをするな、と言ったはずだが

小田桐 届け先の住所は隣りの部屋番号、名前も別人でした。猪戸の供述通り、誤配に間違いありません

月島 今更そんなことはどうでもいいだろう

小田桐 そして送り主は、イースト・ビッグ&ハイ・グッドネス。代表は暴力団の構成員の名前で登録されていますが、この企業は実体のないペーパーカンパニーです

月島 何の話だ

小田桐 問題は、このイースト社名義の倉庫へ、黒部港から今回の拳銃部品を運んだ人物です

月島 ……………

小田桐 赤森警察の刑事が、パトカーで運搬をしていた疑いがあります

月島 (笑) どうかしてる。笑えん冗談だ

小田桐 (写真を出す) ……この刑事がなぜ、この時間に黒部港近辺で、パトカーを乗り回していたのか。そしてイースト社とどのような関係があるのか。詳しく調べる必要があります。それがわからない限り、この案件は解決できません

月島 ……小田桐、どういうつもりだ？

小田桐 私は、職務を遂行するために、事件の状況を明らかにしているだけです  
月島 いつから命令に背き、警察に喧嘩を売ることがお前の職務になった？

小田桐 事実の隠蔽を仕事にした覚えはありません

月島 思い上がるのもいい加減にしろっ

小田桐 やってはいけないことは、やってはいけないんです

月島 ……………

小田桐 つくり話が辿り着くのは行き止まりだけです。その場を取り繕うことはできても、現実と向き合うことを避け続ければ、いずれ組織は機能を失います

月島 (ため息) 幼稚過ぎて話にならん。……お前、検事辞めろ

小田桐 抱えている仕事を終えてから検討します

月島 ああー……。とんだ貧乏くじだ

小田桐 ……

月島 お前を猪戸の担当から外す

小田桐 承知しました

間。

月島 ……鶴田と、おんなじだ

小田桐 ……

月島 自分こそが正義だと思い込んで、狂ってやがる

小田桐 ……鶴田さんはただ、自分たちの恥と向き合い、やり直す覚悟があっただけです

月島 (笑) どんな立派な覚悟をお持ちでも、今や社会的に抹殺された前科者じゃないか

小田桐 いつか検察がやり直す時に、鶴田さんが起こした小さな行動が、無意味ではなかったことがわかります

月島 (笑) 何を言っているのか、全くわからん

小田桐 ……失礼します

小田桐、出て行く。

24 拘置所前

屋外。地方拘置所前。

かの子・藤長・梅津・キクが待っている。

キクのみ衣装が特殊。旭化成の陸上選手の格好。  
(ガチャン)

藤長 お、出てきた

猪戸 (出てくる)  
藤長 よ、よ、待ってました  
猪戸 あらあら、お揃いで。バーベキュー？  
かの子 お迎えに決まってるでしょ  
猪戸 そいつあ、どうも。……えつと(キクを見る)  
キク お帰り、イノさん  
猪戸 うん。(キクの服装が気になる)……それさあ  
かの子 なんにせよ、よかったじゃない。担当弁護士として、大変嬉しく思っています  
猪戸 ええええ、おかげさんで  
かの子 ひとまずお店に戻ろつか。身体に悪いもの沢山食べさせてあげる  
猪戸 お、嬉しいねえ  
梅津 めっちゃ安全運転で送ってあげるからね  
猪戸 本当かねえ。またどつかぶつけないでよ。……ん？ 誰か乗ってる？  
かの子 イノさんの知り合い。御礼を言いに来たんだって  
猪戸 え？……いや、知らない顔なだけど  
かの子 「顔」を見るのは初めてじゃない？  
猪戸 え、顔？(じつくり見る)もしかして……？  
かの子 そ。あたしも全然気づかなかった  
猪戸 おお、マジかあ。さすがは師匠。衰えてねえなあ。……あれ？ これさ、ひとり乗れくない？  
梅津 ん？  
猪戸 だって、一、二、三、四、五、六……  
かの子 あ、キクは乗らない  
キク アタイ、走る  
猪戸 え……ああ、だから(衣装を指す)……いやいや「だから」じゃない  
藤長 大丈夫。キクちゃん、走るの得意なんだって  
猪戸 いや、でもさ  
かの子 双子の弟さん、実業団の選手  
キク これ、シゲルの(衣装を指す)  
猪戸 あ、借りてきたの。そして双子なの？  
キク そうなの  
猪戸 そう。なんだろう、そうまでして迎えに来てくれて、ありがとう。気を付けてね

かの子 じゃ、行こうか

キク 以外、タクシーへ移動を始める。  
藤長がかの子に話しかけて、二人は歩みを止める。

キク (精神統一を始める)

藤長 ママも人が悪いよなあ。アイツ、知ってたんじゃないか

かの子 まあね。でもさ、口が堅いことが信用を生むのはアンタたちも一緒で  
しょ？

藤長 そうだけだよ

かの子 良かったじゃない。こうやってお近づきになれて。結果オーライ

藤長 (ため息) ……顔出しNGなら取材に応じてくれっかなあ

かの子 藤ちゃんも口は堅いつて援護射撃してあげよっか？

藤長 ああ、よろしく頼むよ

キク 静かにしてっ。…集中してるんだから

藤長 ……ごめん

キク (再び精神統一)

かの子 じゃあ、キク、頑張ってね。タクシーへ歩いて行く

藤長 (かの子を追う) なあ、ママ。キクちゃんて結局何やってたコなの？

かの子 さあ。あたし、口が堅いもんで(去る)

藤長 (振り返り、キクを見る。首を傾げて去る)

間。

キク (カッと目を見開き) 超えるっ……

25 スナックかの子

かの子が店の準備をしている。

(ドアベル) 小田桐が覗き込む。

かの子 いらっしやいませ。小田桐先生

小田桐 ……こちらが、スナックかの子ですか？

かの子 はい。そして私が、青木かの子です

小田桐 初めまして、小田桐です  
かの子 どうも。何かお飲みになりますか？  
小田桐 いえいえ、結構です  
かの子 そうは言ってもお茶くらいは出しますよ（準備する）  
小田桐 すみません  
かの子 （準備しながら）ごめんなさいね、お呼び立てしちゃって  
小田桐 いえ、当然のことですから。……あの、確認したいんですが  
かの子 はい、なんでしょう？  
小田桐 本当に青木先生は、弁護士であり、この店のママでもある、ということ  
です？  
かの子 ええ、本当に（お茶を置く）  
小田桐 なるほど。……あの早速、こちらを（封筒を出す） 先日は部下が失礼  
しました  
かの子 頂戴いたします（封筒内確認） はい、確かに。……こういうのは上司  
持ちなんですか？  
小田桐 いえ、今回の再調査は、私の個人的な判断だったので  
かの子 飲んで来いとは言っていないでしょうに  
小田桐 ええ。ですので、タクシー代は負担させました  
かの子 （笑）なるほど  
小田桐 （お茶を飲む）  
かの子 今日はお仕事大丈夫なんですか？  
小田桐 ええ。もう、引き継ぎと事務処理だけなんで  
かの子 お辞めになるんですか？  
小田桐 そうですね  
かの子 ……イノさんから、色々聞きました。今回の件が原因で？  
小田桐 どうでしょう。もう少し前から、気持ちの上では辞めていたように思っ  
ます。こう、頭が身体にムチ打って働いていたようなものでしたから  
かの子 じゃあ、ようやく頭も身体も休めますね  
小田桐 だといいんですが、先のこととはわかりません  
かの子 それは、そうですね  
小田桐 ただ、わかっているのは、私は……、今後……、……………  
かの子 まあ、お茶でも飲んでくださいな（自分の飲み物を取りに行く）  
小田桐 はい  
かの子 薄く焼酎も入ってますから

小田桐 え？

かの子 景気づけに

小田桐 何の景気づけですか

かの子 そしてウツカリ、愚痴をこぼす口実に

小田桐 ……なるほど。商売がお上手のようで

かの子 ……ねえ、先生。これは、イノさんが考えたつくり話なんですけどね

小田桐 つくり話？

かの子 ええ、出所してから聞いた、「お隣りさん」についてのつくり話です。

先生もご興味がおりだと思うので、聞いてもらってもいいですか？

小田桐 ええ、いいですよ

かの子 先生は「三億円事件」をご存知ですよ？

小田桐 まあ、人並みには

かの子 じゃあ、モンタージュ写真にそっくりだっただけで疑われて、取り調べ

まで受けた人間がいたことは？

小田桐 ええ、聞いたことはあります

かの子 その「そっくりさん」がですね、もしもイノさんの団地の、しかも隣り

の部屋に住んでいたら……、という設定から始まるつくり話です

小田桐 つくり話……ですね

別エリアに猪戸が出て来る。当時のベランダの出来事として。

かの子 仮に、彼の名前を「モンタさん」としましょうか。ある夜、イノさんが

ベランダでタバコを吸っていると、隣りにモンタもタバコを吸いに出て

きました。そしてイノさんはいつもの調子で話しかけ、仲良くなっ

てます

猪戸 (隣りに気づき) ああ、どうも……、ねえ……、ははは

かの子 その後、毎晩のようにベランダで顔を合わせるようになり、ある夜、イ

ノさんはモンタにある悩みを打ち明けられます

猪戸 え、何なに、どうした？

かの子 「もう裏稼業から足を洗いたい」と

小田桐・猪戸 裏稼業？

かの子 取り調べを受けた後、モンタは好奇と疑いの目を向けられ、それを避け

るように各地を転々とした結果、最後は人前に出ずに済む、裏稼業に落

ちて行ったそうです

猪戸 へえ

小田桐 そんなことが、本当にあったんですか？

かの子 イノさんの、つくり話ですから

小田桐 ああ

かの子 年月が経ち、裏稼業に嫌気が差したところで、暴力団が簡単に辞めさせてくれるはずもなく、警察に訴えるワケにもいかない。モンタに残された選択肢は……なんだと思います？

小田桐 ……逃亡、でしょうか

かの子 はい。ですが、顔が「三億円」

猪戸 だよ。似てるっ

かの子 逃げて、暴力団のネットワークに引かかるのは時間の問題。そこでイノさんは、一計を案じます

猪戸 顔さ、変えたらいいよ

小田桐 それは、何と言うか……バカバカしい

かの子 ええ、でもイノさん、得意なんですよ

猪戸 そうなの

小田桐 得意って、整形手術がですか？

猪戸 違うの

かの子 イノさんの「整顔」です

猪戸 そうなの

小田桐 整……顔？

猪戸 そうなの

かの子 イノさんの師匠クラスになると骨格から変えてしまうそうで、なんでも、しゃくれが出っ歯になるらしいですよ

猪戸 逆。出っ歯がしゃくれ

小田桐 ……それで、お話はどうなっていくんですか？

かの子 ええ……、イノさんが整顔の師匠を紹介してあげて、モンタは逃亡し、顔を変え、今もどこかで新しい顔の人生を送っていることでしょう。……というところで終わりです

小田桐 ……あの、モンタの裏稼業というのは「拳銃部品の組み立て」ではないでしょうか？

かの子 さあ？ イノさんはそこまで知らなかったみたいですよ

猪戸 いいよ、いいって。言いたく無さそうだもん。そいじゃね、おやすみなさい、つと



猪戸、ベランダから去って行く。

小田桐 そう、ですか。……つまり猪戸さんは、検察に送られても、モンタの存在を黙っていた、というお話ですよ

かの子 そう。キザなつくり話ですよ

小田桐 なるほど……（顔を伏せる）

かの子 でもあたし、この話、気に食わないところがあるんです

小田桐 （顔を上げる）

かの子 顔を変えて、何が新しい人生だってんですよ

小田桐 ……

かの子 そんなの、ウソやまやかして逃げて、問題を先送りにしてるだけじゃないですか。その前に、顔のせいにして転落して行った腐った性根を何とかしろって思うんです

小田桐 はい……

かの子 他人にどう見られようが、どう思われようが、堂々としてりやいいんですよ。そんなことウジウジ気にして、一体誰の脳みそで誰の人生生きてんだって

小田桐 ……

かの子 だからね、先生

小田桐 ……はい

かの子 「人生を棒に振った」なんていうのは、他人から見ただけ「あなたの人生」です。あなたの人生はまだ途中。というか、真つ最中。どうか、そのまま進んでください

小田桐 ……私、そんなこと言いましたっけ？

かの子 あれ？ 言ってませんでしたっけ？

小田桐 （笑う。そして名刺を出す）ひとつ聞きたいことがあります

かの子 はい

小田桐 この人物は信用できますか？

かの子 （名刺を見る）ああ。下品で粗野でガサツですが、口は堅いですよ

小田桐 それは、随分な言いようですね（名刺を仕舞う。そしてコースターの裏に何か書き込み、差し出す）これを

かの子 （受け取る）ん？……これって？

小田桐 こういふ気分なんです。ありますよね？

かの子 ええ、そりや。覚えてるんですか？

小田桐 記憶力はいい方なんで

かの子 (笑) ちよっと待っててください

かの子、去る。しばらくして、マイクを持って出て来る。

かの子 まさか、この曲とは(小田桐にマイクを渡す)

小田桐 ありがとうございます

ほどなく、『青い珊瑚礁』の軽やかなイントロが流れる。

小田桐、可愛く唄い出そうとする。

(終)